



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

# 高度リハビリテーション専門職の養成

—長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—

—平成26・27年度—

# 事業報告書

長崎大学医学部保健学科



長崎大学医学部保健学科長

**田中 悟郎**

本事業は、文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム(チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成)」の長崎大学における事業で平成26年度から5年間の予定で実施いたします。「高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー」を本事業のテーマとし、学部教育としての「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム」とリカレント教育としての「高度リハビリテーション専門職養成プログラム(臨床指導者養成教育コース・地域包括ケア人材養成コース)」も行います。その効果として、1) 地域包括ケアの中でチームアプローチを実践できる理学・作業療法士の輩出、2) 質の高い臨床実習指導者の輩出、3) 地域包括ケアをマネジメントできる高度な理学・作業療法士の輩出、などが期待できます。

さて、初年度である平成26年度及び平成27年度の事業内容をご報告いたします。

平成26年度は、本事業を推進していく組織作りを行い、各種委員会を設置するとともに、臨床実習と地域包括ケアの課題を明確にするためにアンケート調査を実施しました。平成27年3月には、日本リハビリテーション病院・施設協会会長の栗原正紀先生からご講演を賜りキックオフシンポジウムを開催し、参加者数126名で盛況のうちに終了することができました。

平成27年度は、チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラムを開始し、臨床指導者養成教育コース及び地域包括ケア人材養成コースのプログラムを開発しました。また、地域包括ケア人材養成コース推進フォーラム(参加者数176名)、高度リハビリテーション専門職養成推進フォーラム(参加者数163名)、臨床指導者養成教育コース推進フォーラム(参加者数86名)を開催し、好評のうちに終了しました。これもひとえに関係機関・団体の皆様のおかげで支えとご指導の賜物と心から御礼申し上げます。

地域で高齢者・障害者の皆様の生活を包括的に支援できる人材を育成していく所存ですので、今後も皆様のご理解とご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

# も く じ

ごあいさつ(学科長)

## I. 本事業の実施概要

- 1. 事業概要 ..... 7
- 2. 組 織 .....10

## II. 平成26年度事業報告

- 1. 活動報告 .....13
  - 1)キックオフシンポジウム .....13
  - 2)視察報告 .....15
  - 3)広報活動 .....17
    - (1)リーフレット
    - (2)ロゴマーク
    - (3)ホームページ・Facebook
  - 4)調査報告
    - (1)臨床実習の課題分析に関わる調査 .....20
    - (2)地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の  
関わりに関するアンケート調査 .....30
- 2. 会議報告
  - 1) 課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 .....32
  - 2) 長崎臨床実習教育推進委員会 .....32
  - 3) 長崎地域包括ケア教育推進委員会 .....33
  - 4) 課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会 .....34

## III. 平成27年度事業報告

- 1. 活動報告
  - 1) チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム .....39
    - (1)チーム医療実践教育プログラム .....39
      - ①学科内共修授業
      - ②他学部共修授業

(2)臨床実習推進プログラム	41
①早期体験実習前セミナー	
②総合臨床実習前セミナー	
③総合臨床実習後セミナー	
2)臨床指導者養成教育コース	42
3)地域包括ケア人材養成コース	43
4)フォーラム	44
(1)地域包括ケア人材養成コース推進フォーラム	44
(2)高度リハビリテーション専門職の養成推進フォーラム	46
(3)臨床指導者養成教育コース推進フォーラム	48
5)視察報告	50
(1)大阪府立大学	50
(2)北海道大学	51
(3)秋田大学	51
2. 会議報告	
1)課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会	52
2)長崎臨床実習教育推進委員会	56
3)臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会	57
4)臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会	58
5)長崎地域包括ケア教育推進委員会	62
6)地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会	63
7)課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会	66
IV. 総括	
1. プロジェクトリーダーの立場より	69
2. 課題解決型高度医療人材養成プログラム 評価委員の立場より	70
資料	
1. 臨床指導者養成教育コース 平成28年度受講者募集要項	73
2. 地域包括ケア人材養成コース 平成28年度受講者募集要項	83



**I . 本事業の実施概要**



# 1. 事業概要

【実施主体】 長崎大学医学部保健学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻

【実施期間】 平成26年～平成30年 5カ年間

## 【事業の概要と目的】

本事業は、長崎大学医学部保健学科がこれまで取り組んできたチーム医療教育(統合ケア関連科目等)と、長崎県の地域包括ケアネットワークを活かして、「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム(学内教育)」と「高度リハビリテーション専門職養成プログラム(リカレント教育)」を実施する取り組みである。

本プログラムの目的は、質の高い臨床実習指導者、地域包括ケアをマネジメントできる高度な理学・作業療法士を輩出することにある。

## 【プログラム内容】

### 1. チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム(学内教育)

目的：①チーム医療を実践できる人材養成を目的とした学内教育の強化

②実習前教育において教員－臨床実習指導者－学生間の相互作用を図る

対象：理学・作業療法学専攻学生

内容：チーム医療実践教育プログラム：他学部との共修・演習、模擬カンファレンスの実施、  
三専攻での実習、模擬的ケア会議の実施の導入

臨床実習推進プログラム：早期体験実習、実習前セミナーの実施、

介護保険関連施設での演習を導入

※上記プログラムに臨床教授・臨床実習指導者を登用

### 2. 高度リハビリテーション専門職養成プログラム(リカレント教育)

#### (1)臨床指導者養成教育コース

目的：質の高い臨床実習指導者の養成と臨床教育の充実

対象：臨床実習教育に携わる理学療法士・作業療法士

内容：理学療法・作業療法の各疾患に関わるトピックス的内容、クリニカル・クラークシップ、コーチング論等、総時間120時間のコースを設定

臨床実習においてOn the Job Training(OJT)と実習モニタリングシステムを導入

#### (2)地域包括ケア人材養成コース

目的：地域包括ケアに寄与できる指導力を有する理学療法士・作業療法士の養成

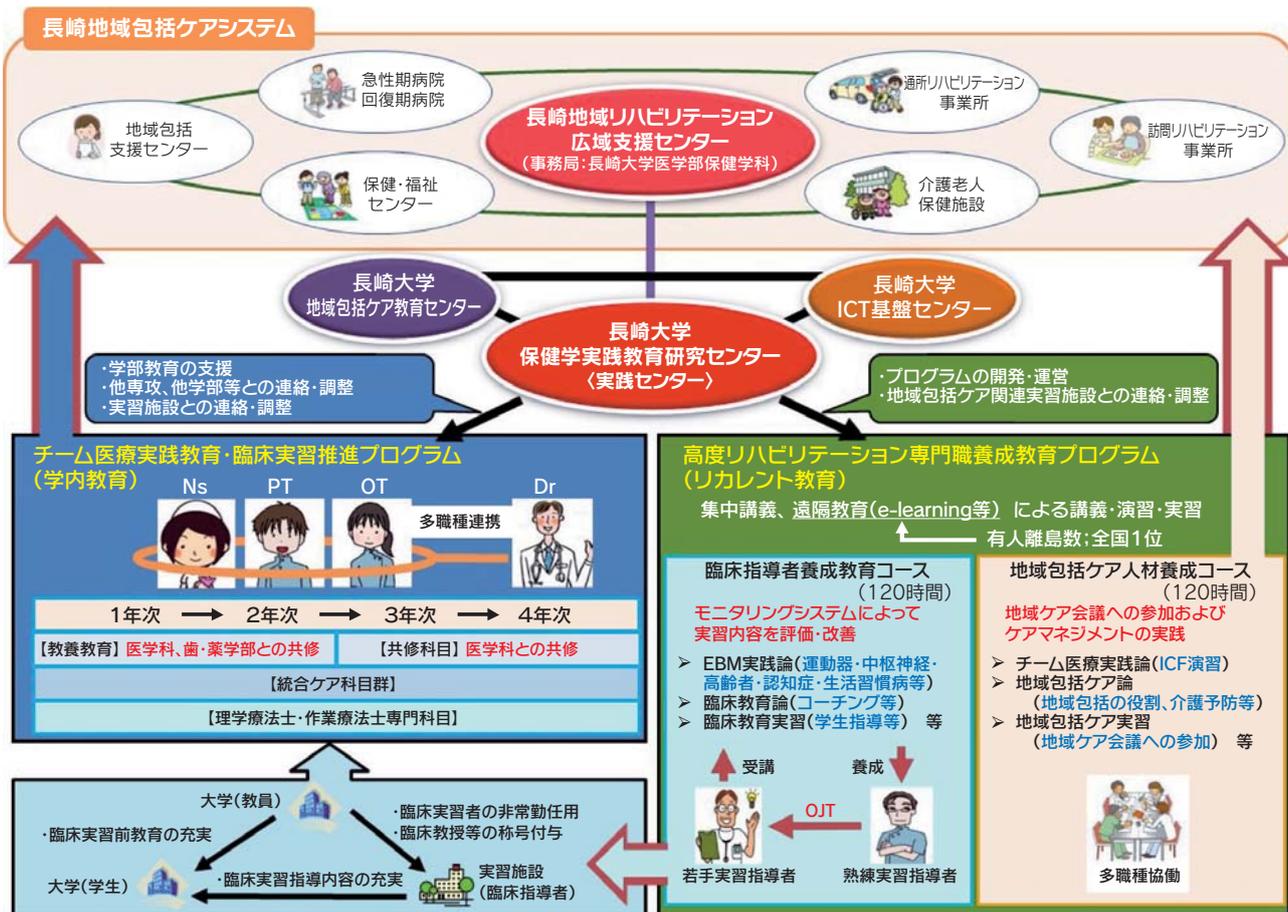
対象：長崎県内の医療及び介護保険分野の理学療法士・作業療法士

内容：ICFを用いた生活障害の分析とケアマネジメント論、地域包括支援センターの理解、介護予防論、  
地域包括ケア実習(地域ケア会議・サービス担当者会議)等、総計120時間のコース設定

ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、訪問リハスタッフ等を講師として招聘

# 高度リハビリテーション専門職の養成

— 長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム —



## 5年間スケジュール

- [平成26年度]
- 課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会の設置及び事業教職員  
の配置
  - 遠隔講義・遠隔会議のためのシステム環境整備
  - 各委員会・部会の開催
  - 臨床実習の課題分析のための調査と公表
  - 地域包括ケアの課題分析のための調査と公表
  - 本事業の公表及び推進のためのホームページの立ち上げ
  - 各委員会委員による国内視察
  - 本事業周知のためのパンフレット配布
  - キックオフシンポジウムの開催

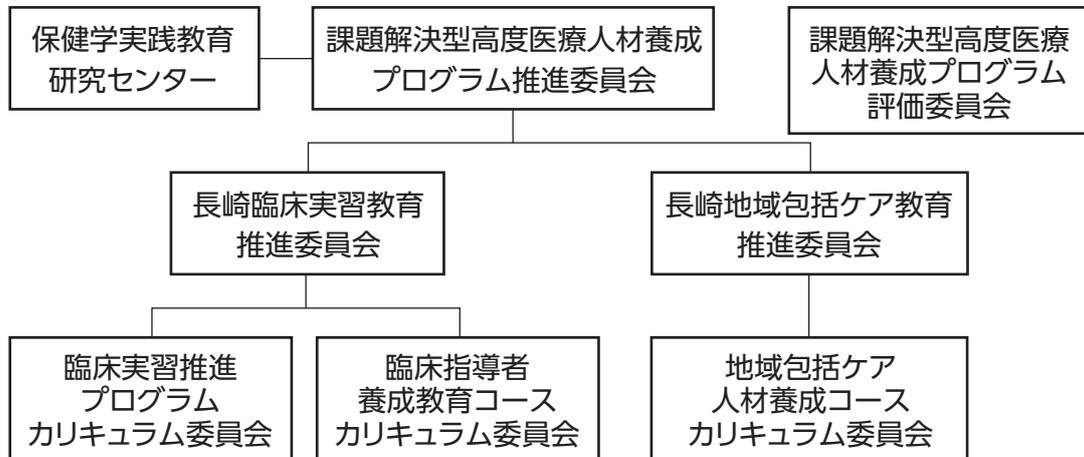
- [平成27年度]**
- 各委員会の開催
  - チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラムにおける改訂カリキュラムの確認・運用開始
  - 臨床指導者養成教育コースのプログラム開発
  - 地域包括ケア人材養成コースのプログラムの開発
  - 各委員会委員による国内視察
  - 高度リハビリテーション専門職の養成推進フォーラムの開催
  - 臨床指導者養成教育コース推進フォーラムの開催
  - 地域包括ケア人材養成コース推進フォーラムの開催
  - 臨床指導者養成教育コース受講者の募集開始
  - 地域包括ケア人材養成コース受講者の募集開始

- [平成28年度]**
- 各委員会の開催
  - 臨床指導者養成教育コースのプログラム開始
  - 地域包括ケア人材養成コースのプログラム開始
  - 臨床指導者養成教育コース推進フォーラムの開催
  - 地域包括ケア人材養成コース推進フォーラムの開催

- [平成29年度]**
- 各委員会の開催
  - 臨床指導者養成教育コース推進フォーラムの開催
  - 地域包括ケア人材養成コース推進フォーラムの開催
  - 臨床実習教育ガイドブックの作成
  - PT・OTのための地域包括ケアガイドブックの作成

- [平成30年度]**
- 各委員会の開催
  - 臨床指導者養成教育コース推進フォーラムの開催
  - 地域包括ケア人材養成コース推進フォーラムの開催
  - 論文集や政策提言集の編纂・公開
  - 最終報告書作成

## 2. 組織



各委員会委員一覧(敬称略、順不同) ※ 委員長

◇課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会

【本 学】※田中 悟郎、井口 茂、沖田 実、東 登志夫、平瀬 達哉、磯 ふみ子

◇長崎臨床実習教育推進委員会

【外部委員】山下 潤一郎(長崎記念病院)、上村 真紀(道ノ尾病院)

【本 学】※井口 茂、沖田 実、鶴崎 俊哉、中野 治郎、坂本 淳哉、平瀬 達哉  
東 登志夫、村田 潤、菊池 泰樹、徳永 瑛子、磯 ふみ子

◇臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会

【本 学】※井口 茂、鶴崎 俊哉、田中 貴子、平瀬 達哉、村田 潤、徳永 瑛子、磯 ふみ子

◇臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会

【本 学】※東 登志夫、井口 茂、沖田 実、神津 玲、岩永 竜一郎、磯 ふみ子

◇長崎地域包括ケア教育推進委員会

【外部委員】陣野 紀代美(長崎市医師会)、淡野 義長(長崎リハビリテーション病院)

【本 学】※井口 茂、小関 弘展、折口 智樹、中垣内 真樹、中原 和美、平瀬 達哉  
東嶋 美佐子、中根 秀之、岩永 竜一郎、田中 浩二、磯 ふみ子

◇地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会

【本 学】※井口 茂、中垣内 真樹、中原 和美、東嶋 美佐子、田中 浩二、平瀬 達哉

◇課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会

【外部委員】塩塚 順(長崎県理学療法士協会)、沖 英一(長崎県作業療法士会)

田島 玲悟(長崎県長寿社会課)、永田 康浩(地域包括ケア教育センター)  
古賀 掲維(ICT基盤センター)

【本 学】※田中 悟郎、井口 茂、沖田 実、東 登志夫、平瀬 達哉、磯 ふみ子



**II. 平成26年度事業報告**





# 1. 活動報告

## 1) キックオフシンポジウム

日 時：平成27年3月28日(土) 14:00~17:00

場 所：長崎大学文教スカイホール(グローバル教育・学生支援棟4階)

参加者数：126名

内 容：

開会あいさつ 長崎大学長 片峰 茂

事業報告 「課題解決型高度医療人材養成プログラム事業概要」  
長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター 井口 茂

講演 「地域包括ケアシステムにおけるリハ専門職の重要な役割と課題」  
日本リハビリテーション病院・施設協会会長  
長崎リハビリテーション病院長 栗原 正紀 先生

シンポジウム 「理学療法及び作業療法教育における高度人材養成への課題と展望」  
「臨床実習教育に関する調査報告」  
長崎大学医学部保健学科理学療法学専攻 沖田 実

「地域包括ケアに関わる調査報告」  
長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター 井口 茂

閉会あいさつ 長崎大学医学部保健学科長 田中 悟郎



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

# 高度リハビリテーション専門職養成 教育プログラム キックオフシンポジウム

日時：平成27年3月28日(土)14時～17時

場所：長崎大学 文教スカイホール

長崎市文教町1-14

参加費無料



## 【開催概要】

本事業は、質の高い臨床指導者、地域包括ケアをマネジメントできる理学・作業療法士を輩出することです。本シンポジウムでは、事業内容紹介と日本リハビリテーション病院施設協会会長 栗原正紀先生をお招きして講演会、臨床教育と地域包括ケアに関する調査報告を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

**【問い合わせ先】 長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター**

〒852-8520 長崎市坂本1-7-1 TEL・FAX 095-819-7937

## 2) 視察報告

### (1) 大阪府立大学

日 時：平成27年3月10日(火)

会 場：大阪府立大学 羽曳野キャンパス

参 加 者：大阪府立大学 高畠 進一 教授、淵岡 聡 教授、樋口 由美 教授  
本学 井口、東、磯

協議事項：①大阪府立大学の事業概要について  
②本学の事業概要について  
③eラーニングについて



### (2) 茨城県立健康プラザ

日 時：平成27年3月16日(月)

会 場：茨城県立健康プラザ

参 加 者：茨城県立健康プラザ 大田 仁史 先生  
本学 井口、関野、磯

協議事項：①本学の事業概要について  
②地域リハビリテーションの在り方について  
③質の高いリハ専門職育成の重要性について  
④意見交換



(3) 茨城県立医療大学

日 時：平成27年3月17日(火)

会 場：茨城県立医療大学

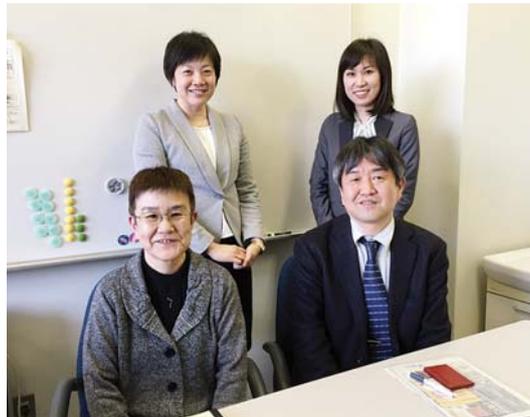
参 加 者：茨城県立医療大学 大橋 ゆかり 教授  
本学 井口、関野、磯

協議事項：①本学の事業概要について

②茨城県立大学における臨床実習の取り組みについて

③大学教育における臨床実習教育のあり方について

④意見交換



(4) 慶應義塾大学病院

日 時：平成27年3月18日(水)

会 場：慶應義塾大学病院

参 加 者：慶應義塾大学病院 小林 賢 先生  
本学 井口、関野、磯

協議事項：①本学の事業概要について

②学生教育について

③臨床指導者養成について

④今後の臨床実習の在り方について

⑤意見交換



### 3) 広報活動

本事業の公表及び推進のためリーフレット、ロゴマーク、ホームページを作成した。

#### (1)リーフレット



**高度リハビリテーション専門職の養成に向けて**

長崎大学医学部保健学科  
学科長 田中 悟郎

本事業は、文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム(チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成)」の長崎大学における事業で平成26年度から5年間の予定で実施します。「高度リハビリテーション専門職の養成-長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム-」を本事業のテーマとし、学部教育としての「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム」とリカレント教育としての「高度リハビリテーション専門職養成プログラム」を行います。その効果として、1)地域包括ケアの中でチームアプローチを実践できる理学・作業療法士の輩出、2)質の高い臨床実習指導者の輩出、3)地域包括ケアをマネジメントできる高度な理学・作業療法士の輩出、などが期待できます。

地域で高齢者・障害者の皆様の生活を包括的に支援できる人材を育成していく所存ですので、皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



**アクセス**

(本学までの案内)

大学病院前バス停下車	徒歩約 5分
浜口町バス停下車	// 15分
大学病院前電停下車	// 15分
浜口町電停下車	// 15分
J R 浦上駅下車	// 20分

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

## 高度リハビリテーション専門職の養成

-長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム-



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

### 高度リハビリテーション専門職の養成

-長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム-

■長崎大学医学部保健学科  
〒852-8520 長崎県長崎市坂本1丁目7-1  
Tel/Fax 095-819-7937  
E-mail:kadai\_ptotgp2@m.nagasaki-u.ac.jp

<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp/>

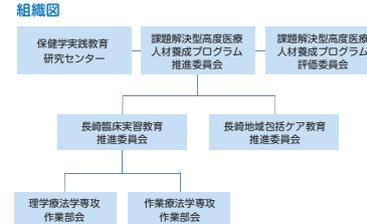


#### 事業の概要と目的

本事業は長崎大学医学部保健学科がこれまで取り組んできたチーム医療教育(統合ケア関連科目等)と、長崎圏域における地域包括ケアネットワークを活かして、「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム(学内教育)」と「高度リハビリテーション専門職養成プログラム(リカレント教育)」を実施する取り組みです。

本プログラムの目的は、質の高い臨床実習指導者、地域包括ケアをマネジメントできる高度な理学療法士・作業療法士を輩出することにあります。

#### 組織図



#### 主なスケジュール

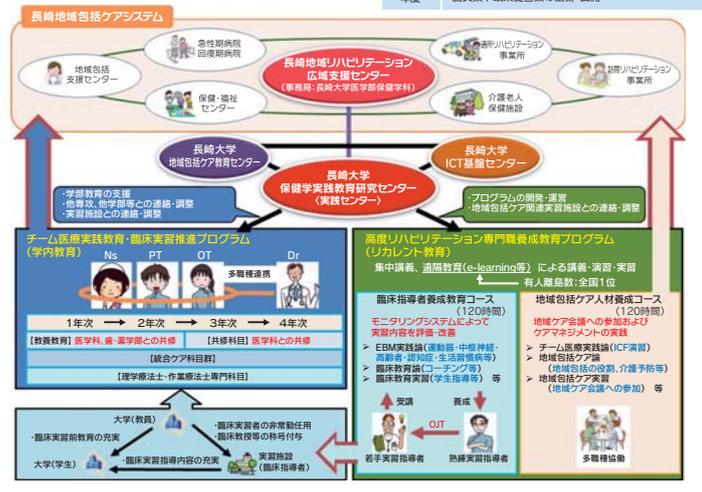
平成26年度	地域包括ケア及び臨床実習に関する課題調査と公表 キックオフシンポジウムの開催
平成27年度	チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラムの運用開始 地域包括ケア人材養成コースのプログラム開発 臨床実習指導者養成教育コースのプログラム開発 地域包括ケア人材養成コース受講生の募集開始 臨床指導者養成教育コース受講生の募集開始 地域包括ケア及び臨床実習フォーラムの開催
平成28年度	地域包括ケア人材養成コースのプログラム開始 臨床指導者養成教育コースのプログラム開始 地域包括ケア及び臨床実習フォーラムの開催
平成29年度	PT・OTのための地域包括ケアガイドブックの作成 臨床実習教育ガイドブックの作成 地域包括ケア及び臨床実習フォーラムの開催
平成30年度	地域包括ケア及び臨床実習フォーラムの開催 論文集や政策提言集の編集・公開

#### 実施期間

平成26~30年度 5カ年間

#### プログラム内容

- チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム(学内教育)**  
目的: ①チーム医療を実践できる人材養成を目的とした学内教育の強化  
②実習前教育において教員-臨床実習指導者-学生間の相互作用を図る  
対象: 理学療法士・作業療法士専攻学生  
内容: ①他学部との共修・演習、模擬カンファレンスの実施、3専攻での実習、模擬的ケア会議の実施の導入  
②早期体験実習、実習前セミナーの実施、介護保険関連施設での演習を導入  
※上記プログラムに臨床教授・臨床実習指導者を登用
- 高度リハビリテーション専門職養成プログラム(リカレント教育)**  
(1)臨床指導者養成教育コース(120時間)  
目的: 質の高い臨床実習指導者の養成と臨床教育の充実  
対象: 本学の臨床実習施設及び長崎県内の臨床実習教育に携わる理学療法士・作業療法士  
募集人員: 平成28~30年度 理学療法士・作業療法士 40名  
内容: 理学療法・作業療法各疾患に關するトピックスの内容、クリニックラウンジ・コーチング講座等  
※臨床実習実習においてOTと実習モニタリングシステムを導入
- (2)地域包括ケア人材養成コース(120時間)  
目的: 地域包括ケアに寄与できる指導力を有する理学療法士・作業療法士の養成  
対象: 長崎県内の医療及び介護保険分野の理学療法士・作業療法士  
募集人員: 平成28~30年度 理学療法士・作業療法士 40名  
内容: ICFを用いた生活障害の分析とケアマネジメント論、地域包括ケアセンターの理解、介護予防論、地域包括ケア実習(地域ケア会議・サービス担当者会議)等  
※ケアマネジャー、地域包括ケアセンター職員、訪問リハスタッフ等を講師として招請



(2)ロゴマーク



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
**高度リハビリテーション専門職の養成**  
—長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—  
Training Program for Advanced Rehabilitation Professionals

三色の線は、リハビリテーション専門職を目指す者、臨床現場で活躍しているリハビリテーション専門職、地域で活躍するリハビリテーション専門職をそれぞれ表し、同時に本プロジェクトで実施する3つのプログラムを表している。そして、長崎大学が教育 (Education) で支えていくことを表した。

(3)ホームページ・Facebook

公開日：平成27年1月30日

U R L : <http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp>





文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
**高度リハビリテーション専門職の養成**  
 ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー  
 Training Program for Advanced Rehabilitation Professionals





---

HOME
ごあいさつ
事業概要
募集案内
研修・セミナー
活動報告
お問い合わせ

## ごあいさつ

### 事業推進責任者



本事業は、文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム（チーム医療に貢献でき、高い指導能力を持ったメディカルスタッフの養成）」の長崎大学における事業で平成26年度から5年間の予定で実施するものです。

長崎県は2035年の老年人口割合が全国で最も高く、さらに有識者数の全国第1位であり、地域で高齢者・障害者を包括的にリハビリテーションケアするシステムの構築が求められています。また、長崎県では理学療法士と作業療法士の数は毎年増加してはいるものの、経験のある指導者が不足している現状にあります。加えて、地形的不利が影響し、高齢者を対象としたリハビリテーション教育も盛んである。スキル向上には大変困難があります。

一方、医療の高度化・専門化が進むにつれ、多数の専門スタッフが組織的に診療に取り組むチーム医療の重要性が高まっています。併せて患者のリハビリテーションに対するニーズも医療から保健・福祉・教育の領域まで多様化し、それへの科学的根拠に基づいた適切な対応が求められています。

そこで、本事業のテーマを「高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー」とし、学部教育としての「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム」とリカレント教育としての「高度リハビリテーション専門職養成プログラム」を実施します。具体的には、前者ではチーム医療推進のための専門性の強化と役割の拡大に込められる臨床実習前教育と臨床実習の実施といった体系的なプログラムを展開します。後者では臨床実習生をより効果的に教育指導できる高い指導能力をもった実習指導者を養成するための体系的なプログラムを展開します。また、長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムによって高度なリハビリテーション専門職を養成し、地域や医療現場を取り巻く諸課題の解決を目指します。

本事業の効果として、1) 地域包括ケアの中でチームアプローチを実践できる理学士・作業療法士の輩出、2) 質の高い臨床実習指導者の輩出、3) 地域包括ケアマネジメントできる高度な理学士・作業療法士の輩出、などが期待できます。

本事業は、長崎大学保健学実践教育研究センターが長崎大学地域包括ケア教育センター及び長崎大学ICT基盤センターと協働して推進していきます。本事業の推進は、長崎大学医学部保健学科が主体を担っている長崎地域リハビリテーション広域連携センターの医療・保健・福祉・教育ネットワーク（長崎地域包括ケアシステム）を活用することにあります。また、これらのプログラムの相互作用によって大学と臨床実習先である医療等が人材交流を活性化させることができ、強固な連携体制のもと、新たな教育指導体制を構築できると考えています。

地域で高齢者・障害者の皆様の生活を包括的に支援できる人材を育成していく所存ですので、皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

### プロジェクトリーダー



保健学実践教育研究センターは、平成26年度5月に設置され、その役割は保健学科における(1)臨床実習・臨床実習を含む学部教育プログラムの改善・充実に関すること、(2)教養教育及び学部教育を行う教員の支援に資すること、(3)実習指導者の育成に関すること、(4)リカレント教育の支援に関することを柱としています。この役割より、今回のGIPの推進において中心的役割を担うこととなりました。

本事業のプログラムは、チーム医療実践と臨床実習を推進していく学内教育の改革と臨床現場の理学療法士・作業療法士を対象とした臨床指導者養成と地域包括ケア人材養成のリカレント教育の3つのコースから構成されています。特に臨床実習指導者の養成と地域包括ケア人材養成においては、その研修体制は整備されており、大学教育の中で教育プログラムを実践していきたいと考えています。本プログラムには多くの実践現場での学びが必要です。多くの関係機関のご協力をお願いいたします。

© 2016 高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー  
 長崎大学医学部保健学科 〒852-8520 長崎県長崎市本庄1丁目7-1

Facebook : <https://www.facebook.com/ptotgp>



The screenshot shows the Facebook page for the training program. The header includes the program name and university logo. The main content area features a photo of two people smiling and text about the program. Below this, there are several posts from the page:

- A post from February 22, 2015, announcing the start of the 2015 training course for clinical supervisors. It mentions that 40 students are currently enrolled and that the program includes training centered on seminars, clinical rotations, and coaching.
- A post from February 23, 2015, providing more details about the program's structure and goals.

The page also shows engagement metrics such as '274人が「いいね!」と書いています' (274 people liked it) and a list of recent posts with their dates and content.

— 19 —

#### 4) 調査報告

##### (1) 臨床実習の課題分析に関わる調査

###### 【目的】

平成26年度より本学では、文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業として「高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー」を展開している。

本プログラムの目的は、チーム医療に貢献できる高い指導能力を持ったメディカルスタッフを養成することであり、高い専門知識と技術を持った臨床実習指導者を輩出することを目標の一つに掲げている。そこで、本プログラムを開発・展開していくための基礎資料を得る目的で、本学理学療法学(以下、PT)専攻ならびに作業療法学(以下、OT)専攻の臨床実習施設を対象にアンケート調査を実施したので、その結果について報告する。

###### 【方法】

平成26年度におけるPT・OT専攻所属学生の臨床実習受け入れ施設は述べ76施設(PT専攻；34施設、OT専攻；42施設)であり、これらの施設に対して、1)臨床実習施設の概要、2)臨床実習における学生指導方法、3)臨床実習形態、4)臨床実習指導者の資質、5)臨床実習における課題、6)臨床実習指導者に対する教育、といった大項目からなるアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施期間は平成27年1月20日～2月6日で、回収率はPT専攻が94.1%(32/34施設)、OT専攻が90.5%(38/42施設)であった。

###### 【結果】

##### ① 臨床実習施設の概要について

PT専攻の臨床実習施設の多くは総合院、一般病院であり、対象疾患としては運動器疾患、中枢神経疾患、呼吸器疾患、循環器疾患が中心である(図1)。一方、OT専攻では学生が身障・精神・小児系の3領域でそれぞれの臨床実習を経験できるよう構成されており、臨床実習施設も一般病院に加え、精神科病院、小児施設の割合が高くなっており、対象疾患としても運動器疾患、中枢神経疾患に加え、精神疾患、小児疾患が中心である(図2)。

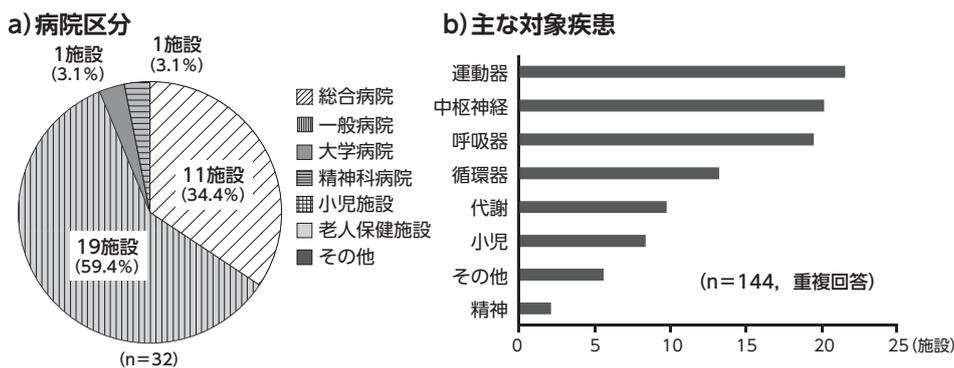


図1 PT専攻の臨床実習施設の概要

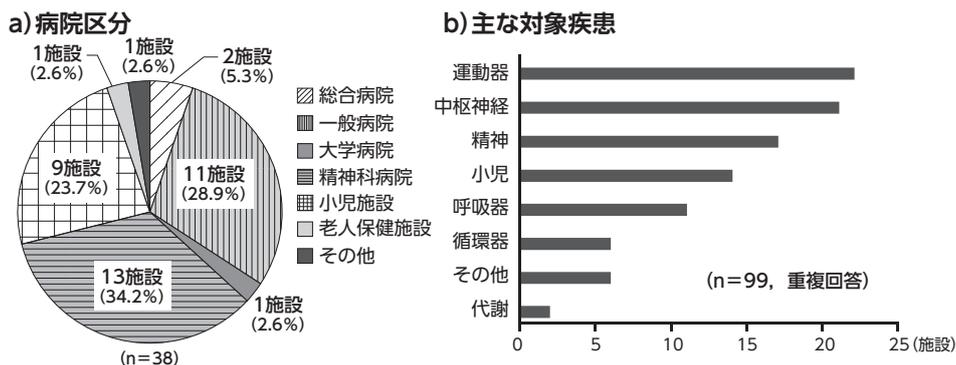


図 2 OT専攻の臨床実習施設の概要

次に、最近の動向として、臨床実習施設におけるPT・OTをはじめとしたリハビリテーション専門職のスタッフ数は非常に多くなってきている現状にある。ただ、OT専攻の臨床実習施設の中には今なお一人職場も存在し、そのような状況でも臨床実習の受け入れが行われている(表1)。実際、臨床実習の受け入れ状況としては、養成校数ではPT専攻の臨床実習施設が平均6.5校、OT専攻のそれが平均3.6校であり、学生数ではPT専攻の臨床実習施設が平均9.7名、OT専攻のそれが平均5.0名であり、養成校数、学生数ともにPT専攻の臨床実習施設が多い傾向にある。一方、本学の学生の受け入れ状況はPT専攻とOT専攻の臨床実習施設で大差なく、年間で1~2名程度であり、長崎大学病院においてはPT専攻の臨床実習において年間5名と、非常に多くの学生の受け入れが行われている(表2)。

次に、臨床実習指導者(supervisor; 以下、SV)ならびに症例担当指導者(case visor; 以下、CV)の臨床経験年数としては、PT専攻とOT専攻の臨床実習施設で大差なく、SVにおいては3年から10年以内の、いわゆる中堅セラピストと呼ばれる方々の割合が高いが、CVは経験年数3年未満の、いわゆる新人セラピストと呼ばれる方々の割合が高い状況にある(表3)。また、SVならびにCV一人あたりの同時期の受け持ち学生数は、PT・OT専攻のほとんどの臨床実習施設が1~2名であるが、PT専攻の臨床実習施設の中には3名以上の学生の臨床実習指導を行なっているSV、CVも存在し、特定個人が過負荷になっていることが危惧される(表4)。

表 1 臨床実習施設におけるリハビリテーション専門職種の内訳

	a)PT専攻の臨床実習施設(n=32)			b)OT専攻の臨床実習施設(n=38)		
	PT(名)	OT(名)	ST(名)	PT(名)	OT(名)	ST(名)
総計	707	378	142	567	485	155
平均	22	12	4	15	13	4
最大	58	50	25	68	54	25
最小	4	0	0	0	1	0

表 2 臨床実習の受入状況

	養成校数		学生数		長崎大学の学生数	
	PT (n=31)	OT (n=38)	PT (n=31)	OT (n=38)	PT (n=30)	OT (n=36)
平均	6.5	3.6	9.7	5.0	1.6	1.5
最大	13	11	30	22	5	3
最小	2	1	2	1	1	1

表 3 SVならびにCVの臨床経験年数

臨床経験年数	スタッフ数		SV経験者		CV経験者	
	PT (n=717)	OT (n=493)	PT (n=265)	OT (n=227)	PT (n=331)	OT (n=220)
3年未満	156名 (22.8%)	131名 (26.6%)	0名 (0.0%)	0名 (0.0%)	42名 (12.7%)	12名 (5.5%)
3～5年	171名 (23.8%)	102名 (20.7%)	30名 (11.3%)	19名 (8.4%)	87名 (26.3%)	48名 (21.8%)
6～10年	207名 (28.9%)	132名 (27.2%)	122名 (46.0%)	97名 (42.7%)	117名 (35.3%)	74名 (33.6%)
11～15年	82名 (11.4%)	65名 (13.4%)	58名 (21.9%)	57名 (25.1%)	46名 (13.9%)	40名 (18.2%)
16年以上	101名 (14.1%)	63名 (13.0%)	55名 (20.8%)	54名 (23.8%)	39名 (11.8%)	46名 (20.9%)

表 4 一人あたりの同時期の受け持ち学生数

	SV		CV	
	PT (n=32)	OT (n=35)	PT (n=29)	OT (n=33)
1名	21施設 (65.6%)	28施設 (80.0%)	22施設 (75.9%)	27施設 (81.8%)
2名	5施設 (15.6%)	6施設 (17.1%)	4施設 (13.8%)	6施設 (18.2%)
3名	4施設 (12.5%)	1施設 (2.9%)	0施設 (0.0%)	0施設 (0.0%)
4名以上	2施設 (6.3%)	0施設 (0.0%)	3施設 (10.3%)	0施設 (0.0%)

②臨床実習における学生指導方法の現状について

臨床実習における1日あたりの学生指導の時間数は、PT専攻の臨床実習施設では30分～2時間程度と比較的長い時間行われている状況にある。一方、OT専攻の臨床実習施設においては30分～1時間程度行われている状況にある(図3)。そして、臨床実習における学生指導は業務時間内のみならず、業務時間外にも行われており、臨床実習指導者の負担は大きいといえる(図4)。

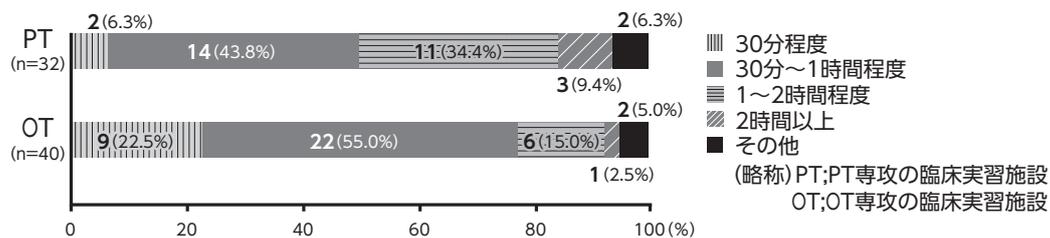


図 3 1日あたりの学生指導の時間数

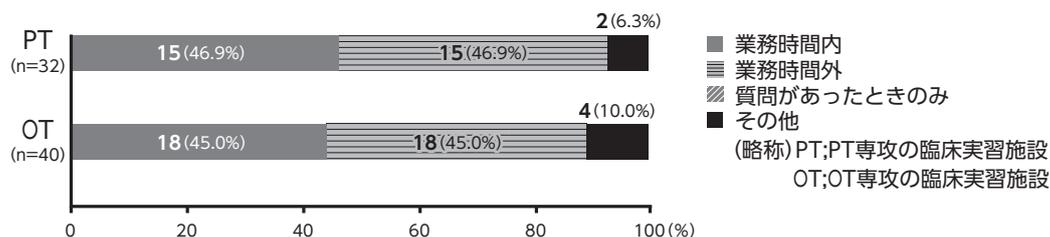


図 4 学生指導の時間帯

次に、学生指導方法としては、PT・OT専攻のほとんどの臨床実習施設が様々な場面における口頭でのフィードバックに加え、症例レポートやデイリーノートで行われている状況にある(図5)。

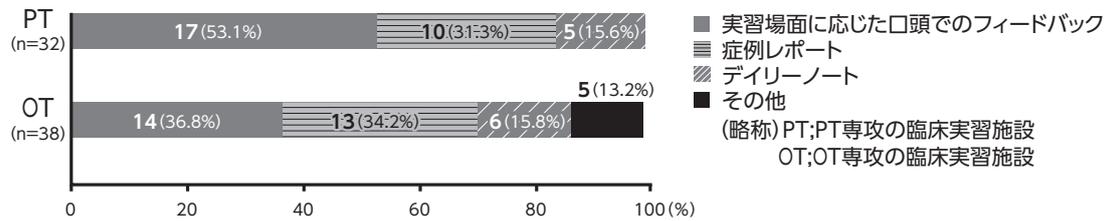


図5 学生指導方法の現状

そして、学生指導の形態としてもPT・OT専攻の臨床実習施設の多くで、SVとCVが共同で指導にあたる形態がとられており(図6)、その長所としては「多くの症例を経験できる」、「多くの視点で学生指導ができる」、「SVもしくはCVの偏った指導を防げる」、「SVも含めてスタッフの負担軽減につながる」、「SVとCVで学生指導の悩みを共有でき、あわせて知識を高めあえる」、「学生を早く帰宅させることができ、自主学習の時間が確保しやすい」、「CVへの助言・指導も行え、そのレベルアップにつながる」などの意見があがっていた。また、短所としての意見もあり、具体的には「SVとCVの意見が異なる場合は学生に混乱が生じる」、「学生指導の一貫性が保てない」、「複数のスタッフからの指導となるため、業務時間外になることが多い」、「関わるスタッフが増えることで学生が萎縮する場合がある」、「CVと学生が共に悩む状況に陥ると、SVの労力が増す」などがあがっていた。一方、OT専攻の臨床実習施設をみると、SV一人で指導にあたる形態をとられている施設も少なくなく(図6)、その長所としては「学生の様子がよく観察でき、指導も適宜行える」、「学生のレベルに応じて対応が可能である」、「学生の意見が出やすい」、「指導方針・内容が一貫できる、ぶれない」などがあがっていた。また、短所としての意見もあり、具体的には「学生にとっては色々な意見・考え方に触れにくい」、「SVとの人間関係構築がうまくいかない場合は学生のストレスが大きい」、「SVの技量に左右されることから、SVによって指導方法・内容にばらつきが生じる」、「SVにとっては業務負担増となる」などがあがっていた。

次に、臨床実習終了時に求める学生の到達レベルとしては、PT・OT専攻のほとんどの臨床実習施設が評価・介入の実践には助言を必要とするレベルと考えており、独立してPT・OTの実践ができるといった即戦力を養成するという高い到達レベルまでは求めていないといえる(図7)。

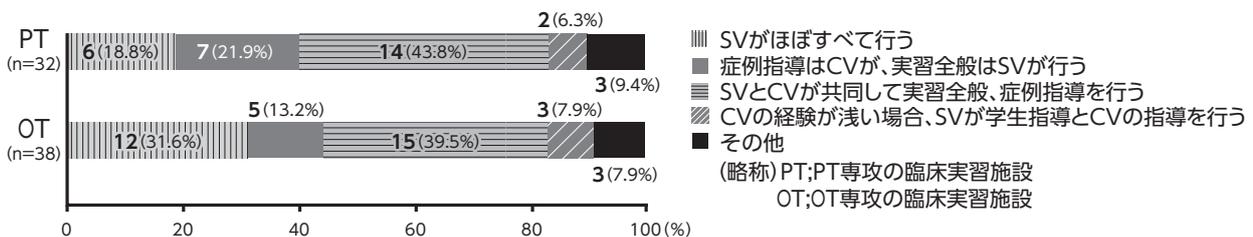


図6 学生指導形態の現状

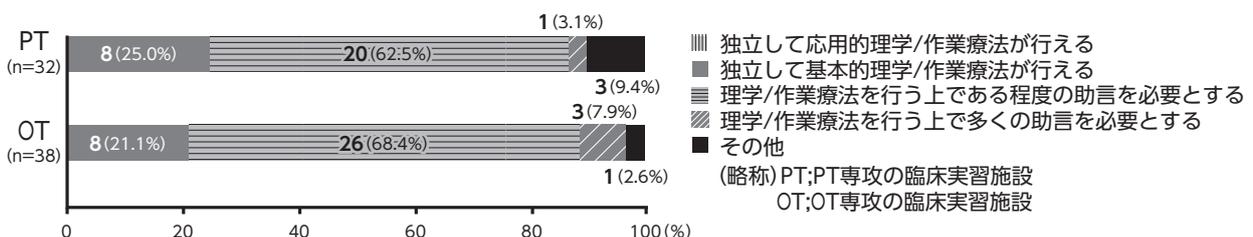


図7 臨床実習終了時に求める学生の到達レベル

③臨床実習形態の現状について

現状の臨床実習形態は、PT・OT専攻の臨床実習施設とも特定の患者を担当する形態が多く取り入れられており、クリニカル・クラークシップの形態はまだほとんど行われていない(図8)。

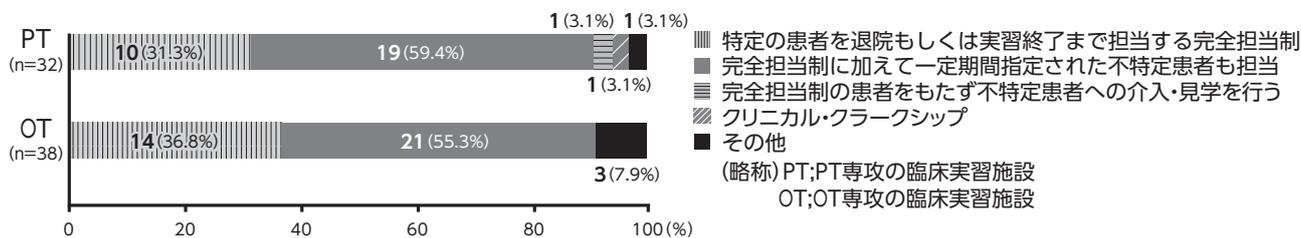


図8 実習形態の現状

また、学生が患者に介入を行うことに関しては、実習経験としては必要であるが、法制度上のことも含め妥当ではなく、今後何らかの改善策を講じる必要があると認識されている(図9)。

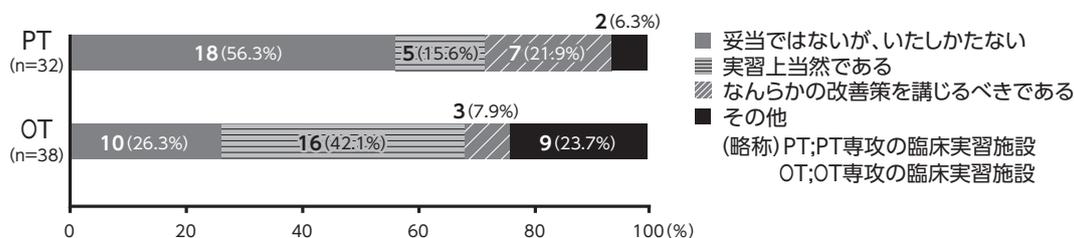


図9 学生が介入を行うことに関する意見

次に、臨床実習指導における重要事項については、PT専攻の臨床実習施設とOT専攻の臨床実習施設で若干順位差はあるものの、専門職のアイデンティティ形成とコミュニケーション能力の向上といった学内教育では獲得しづらい点が上位にあがっており、あわせて、臨床での経験を通して思考力や学問的探求心の向上を目指して臨床実習指導が行われている(図10)。

また、今後採用を考えられている実習形態としては、患者担当性がやはり多いものの、クリニカル・クラークシップの導入を考えている臨床実習施設も散見され、実習形態について変革が必要であることは認識され始めているように思われる(図11)。

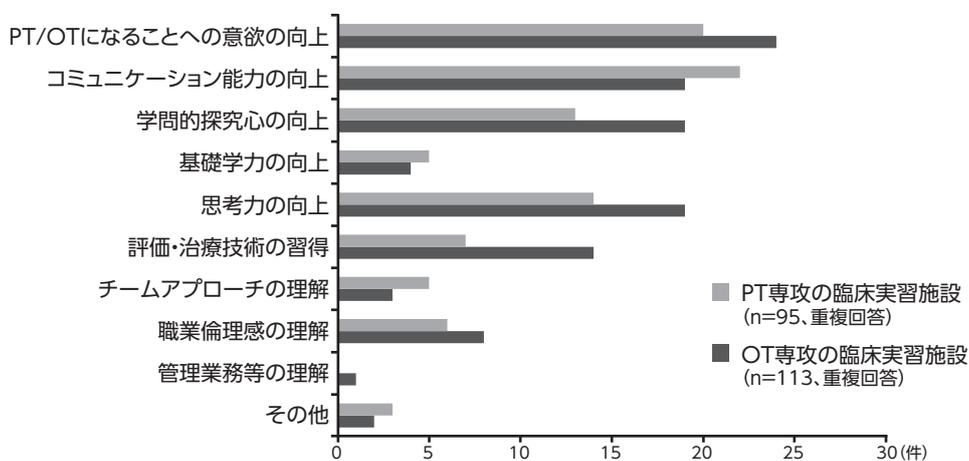


図10 臨床実習指導における重要事項

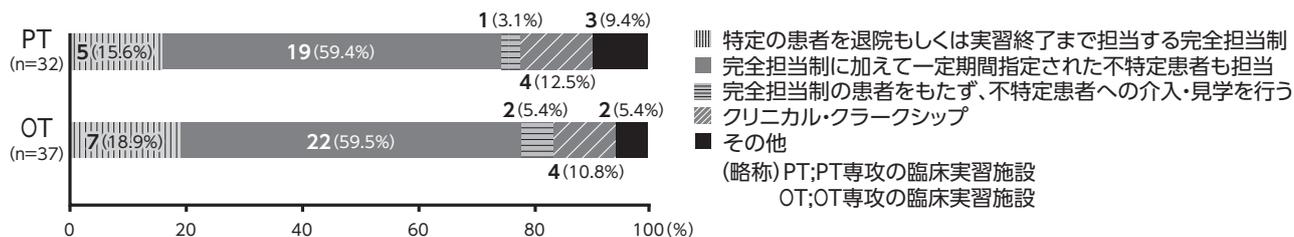


図11 今後採用を考えている実習形態

④臨床実習指導者の資質について

PT・OT専攻の臨床実習施設とも、SVを担当する上では臨床経験に加え、臨床実習指導者研修会の受講が必要と考えているところが多く、その他に学術研究活動の実践やPT専攻の臨床実習施設では修士以上の学位といった学歴をあげるところもある(図12)。一方、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、CVを担当する上では臨床経験が最も重要であり、一部、臨床実習指導者研修会の受講や学術研究活動の実践も必要ではないかと考えているところもある。

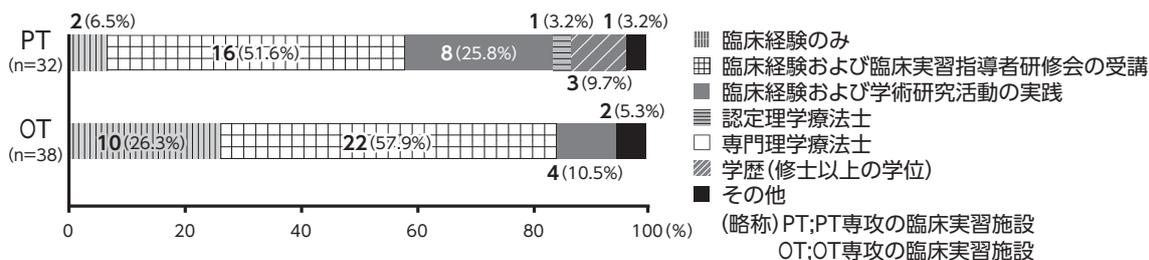


図12 SVを担当する上での望ましい条件

SVの適正としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、教育力が最も重要な要素としてあがっており、次いでマネジメント能力があがっている(図13)。一方、CVの適正としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、臨床能力が最も重要な要素としてあがっており、一部には教育力も必要ではないかとする意見もある。

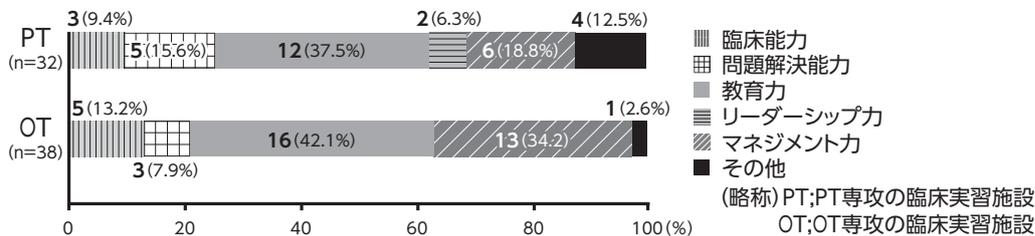


図13 SVの適正として重要な要素

⑤臨床実習における課題について

養成校側の課題としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、評価法の知識・技術ならびに疾患の知識に関する指導不足が多くあがっており、あわせて臨床実習における基礎的な態度に関する指導不足に関しても多くあがっている。したがって、これまで以上に実習前教育としての学内教育の強化が必要といえる(図14)。

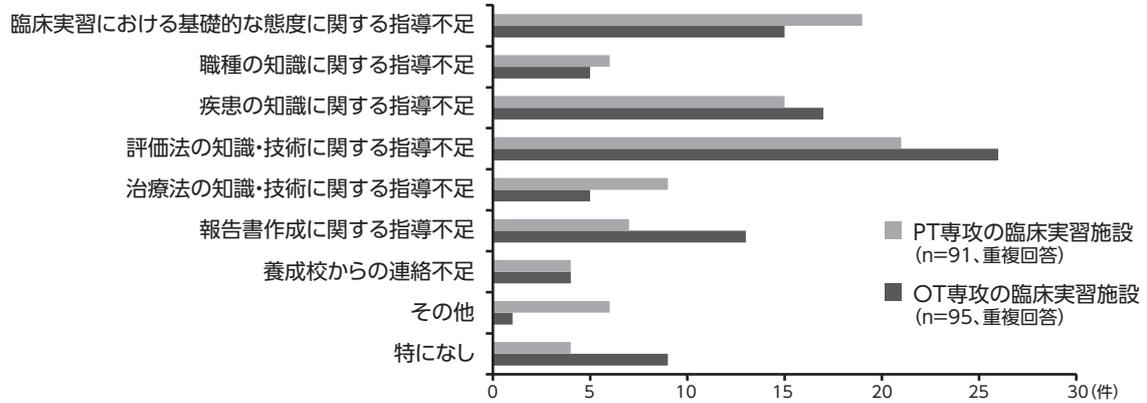


図14 臨床実習における養成校側の課題

学生側の課題としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、臨床実習における基本的態度が習得できていないことが最も多くあがっており、次いで、対象者に対するコミュニケーション能力の問題や評価法に関する知識・技術の習得が不十分であることがあがっている。また、職種に対する興味・関心・意欲が不足している学生も少なくなく、それぞれの専門職に対するアイデンティティ形成の育成が初学教育で重要であると思われる(図15)。

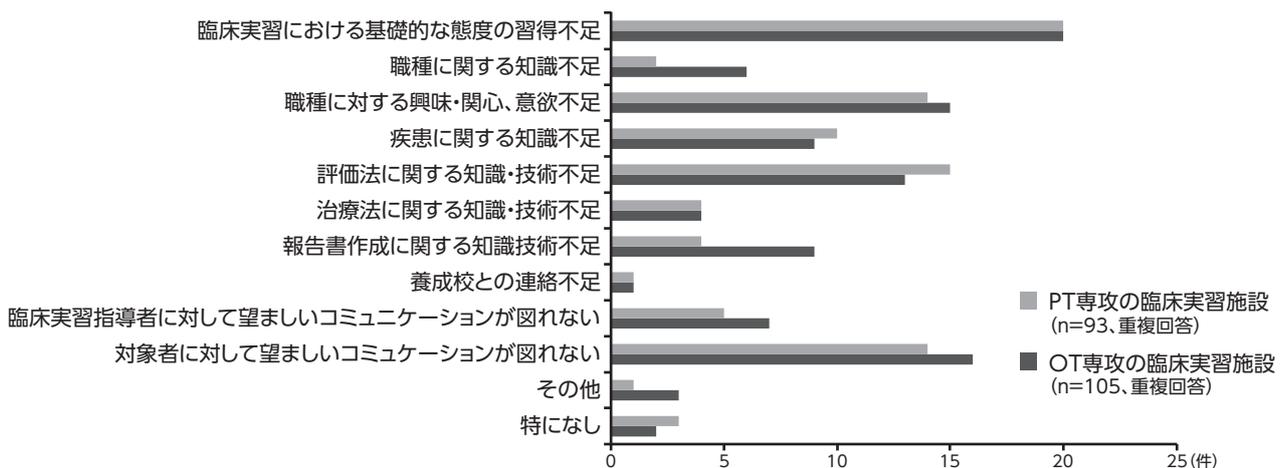


図15 臨床実習における学生側の課題

施設側の課題としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、臨床業務の多忙さゆえに学生指導の時間がとれないことが最も多くあがっており、その他としては、医療制度の変革に伴って学生に経験させたい患者が少なくなっていることや臨床実習指導者の教育システムが確立していない現実的課題も多くあがっており、特に教育システムの確立に向けての本プログラムの役割は大きく、期待も大きいのではないかとと思われる(図16)。

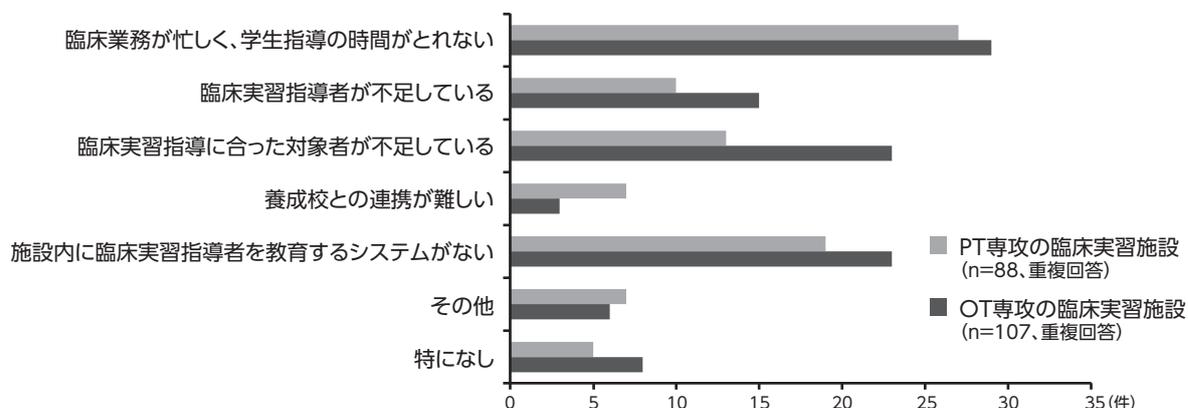


図16 臨床実習における施設側の課題

次に、SV、CVの指導力に関する自己評価を実施したが、PT専攻の臨床実習施設の61.3%、OT専攻の臨床実習施設の89.5%がSV、CVともに指導力不足を感じることがあるとの回答であった(図17)。そして、その具体的内容をみても、SVの指導力で最も不足している能力としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、教育力が最も多くあがっており、次いでマネジメント力という結果で、これは先に示したSVの適正として重要な要素と合致しており、SV自身はこれらの能力を強化したいと考えているようである(図18)。また、CVの指導力で最も不足している能力としては、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、教育力のほかに臨床能力もあがっており、これは臨床経験3年未満の新人セラピストでさえ臨床教育に参画しなければならない現実的課題を物語っている。

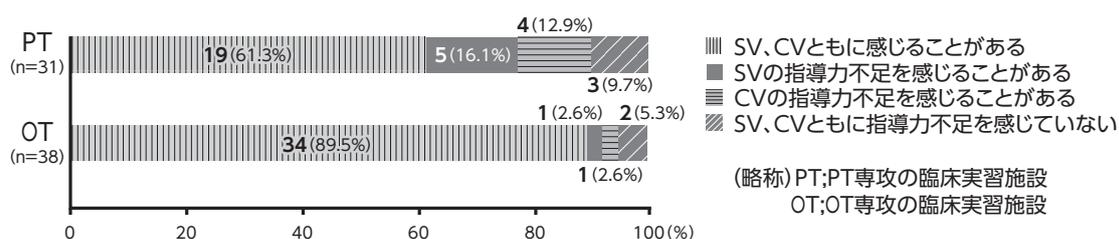


図17 SV, CVの指導力に関する自己評価

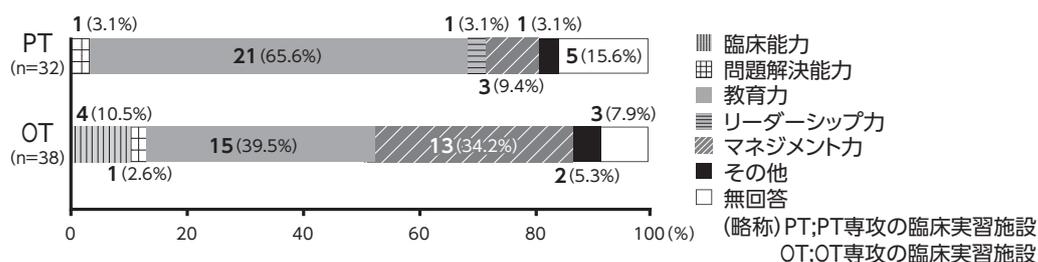


図18 SVの指導力で最も不足している内容

### ⑥臨床実習指導者に対する教育について

今回、SV、CVに対して教育的トレーニングの必要性についても回答を得たが、SVについてはPT・OT専攻の臨床実習施設の90%以上が必要との回答であり、その主な理由としては「臨床実習教育について学ぶ機会がなかった」、「経験年数だけではSVの資質(特に、教育力)が身につくわけではない」、「教育方法論に関するトレーニングのため」、「SVによって指導内容や力量に差があることから、SVとしての明確な基準作りのため」、「自身の指導方法の見直しならびに自己啓発のため」、「現状の養成校の教育スタイルを理解するため」などがあがっている。また、CVに対する教育的トレーニングに関してもPT・OT専攻の臨床実習施設の70%以上の施設は必要との回答であり、その主な理由としては、「臨床実習教育について学ぶ機会がなかった」、「先々、SVとなるため」、「自身の指導方法の見直しのため」、「経験年数だけでは教育力が身につくわけではないため」、「教育方法論に関するトレーニングのため」、「CVであっても基準が必要と考えるため」、「現状の養成校の教育スタイルを理解するため」などがあがっている。以上のように、今回の調査で臨床実習指導者に対する教育的トレーニングのニーズは非常に高いことが明らかとなった。

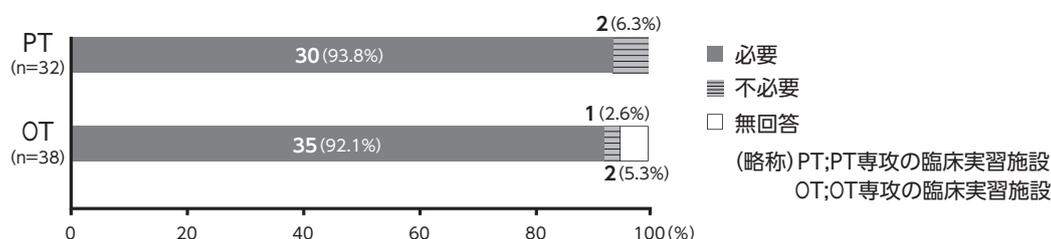


図19 SVに対する教育的トレーニングの必要性

では、現状において臨床実習施設ではどのような教育的トレーニングが行われているのかというと、PT・OT専攻の臨床実習施設とも、特に行っていないとの回答が最も多かった。しかし、施設内で研修、勉強会等を実施している臨床実習施設やPT・OT協会ならびに各県士会単位の研修会等へ参加している臨床実習施設も散見される(図20)。そして、今後望ましい臨床実習指導に関する教育の形態としては、PT・OT協会ならびに各県士会単位の研修会への参加が最も多くあがっており、次いで、養成校主催の研修会への参加が多くあがっており(図21)、本プログラムへの期待も大きいように思われる。加えて、臨床実習指導者向けの研修会等への要望としては、「クリニカル・クラークシップの方法・運用といった実習形態に関する内容」、「コミュニケーション能力や学習意欲などを向上させる方法論(ファシリテーション論)、学生のメンタルヘルスに対する対策方法ならびにハラスメントの対策方法などといった学生の対応方法」、「教育方法論やコーチング論、リーダーシップ論、マネジメント論、On the Job Training(OJT)、症例レポートの作成方法などといった学生指導方法」、「養成校が考えている明確な実習到達目標」、「教育内容のアップデート内容なども含んだ学内教育のフィードバックならびにPT・OTの歴史やその発展過程、職務上必要なコンプライアンスや倫理観などといった教育内容」、さらには「今後の臨床実習のあり方」などがあがっている。

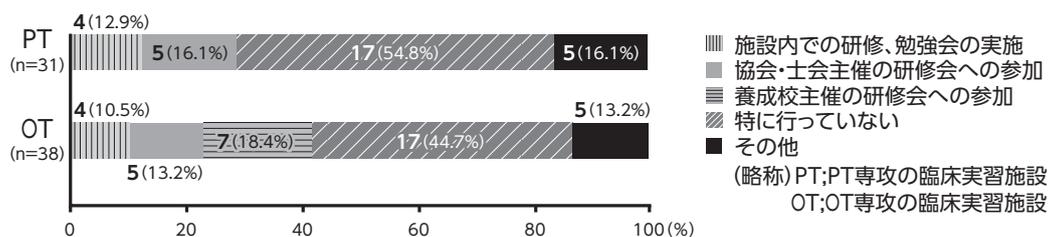


図20 臨床実習施設における教育的トレーニングの現状

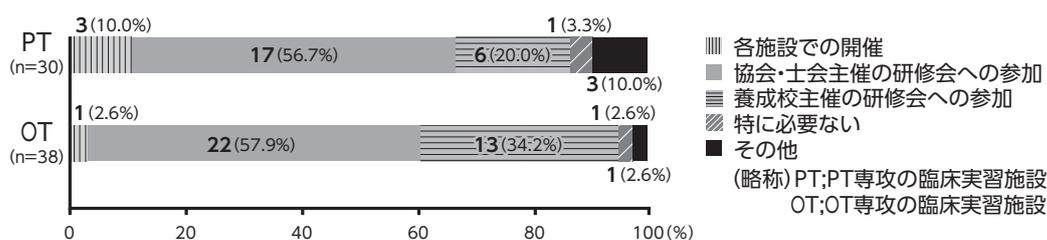


図21 今後望ましい臨床実習指導に関する教育の形態

### 【まとめ】

今日の超高齢社会の進展や生活習慣病の増加などに伴う疾病構造の変化によって、重複障害患者が増加しており、学生に経験させるべき標準的な患者が少なくなっている。また、病院の機能分化などの影響によって入院期間が短縮し、学生が十分な時間をかけて患者を担当することは困難になってきており、あわせて、法制度上の問題で学生が患者に介入を行うこと自体の是非も問われている。つまり、以上のような状況を踏まえると、PT・OTの卒前教育として行われる臨床実習は、従来型の患者担当性に基づく実習形態からクリニカル・クラークシップを主体とした実習形態に変革する時期に来ていることは間違いない。

今回のアンケート調査結果を見ると、現状における本学のPT・OT専攻の臨床実習は臨床実習指導者の努力によって概ね従来型の実習形態が実践されているものの、その継続は極めて難しい状況にあることが示唆され、臨床実習施設側においても実習形態について変革が必要であることが認識され始めている。そして、臨床実習指導者の資格に関しても従来の臨床経験のみでは不十分であり、一部には学術研究活動の実践や大学院修士資格などの学歴をその要件に含めるべきとした意見があがっており、高度専門職業人の養成を目的としている大学院修士課程の役割が今後重要になってくるように思われる。また、臨床実習指導者自身は学生に対する指導力不足を痛感しており、PT・OTのリカレント教育としての臨床実習教育方法論の習得はニーズも高い。したがって、これらの教育システムの開発・展開を目的としている本プログラムの役割は大きく、期待も大きいのではないかとと思われる。加えて、今後の臨床実習を円滑かつ効率的に進めるためには、養成校側や学生側の課題も大きく影響しており、卒前教育においては単にPT・OTの専門科目を教授するのみならず、これら専門職に対するアイデンティティ形成や対象者に対するコミュニケーション能力の向上などといった臨床対応能力の強化を目指した実習前教育の充実が必要といえる。そのため、本プログラムでは臨床実習指導者と協力・連携を図りながら、これらの教育改革を行っていくことも重要な課題といえよう。

### 【謝辞】

業務御多忙中、今回のアンケート調査にご協力いただきました本学PT・OT専攻の臨床実習施設の先生方に深謝申し上げます。

(報告：理学療法学専攻 沖田 実)

(2)地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の関わりに関するアンケート調査

【目的】

地域包括ケア構築における理学療法士・作業療法士の役割とその課題を明確にすること。

【対象と方法】

長崎県内の地域包括支援センター 51カ所に対して、理学療法士及び作業療法士が関与している事業内容と役割及び課題についてアンケート調査を実施した。

【結果】

①地域包括支援センターの事業に対する理学療法士・作業療法士の関与状況

理学療法士及び作業療法士が事業に関与していると回答した地域包括支援センターは、24箇所(66.7%)であった。その事業内容は介護予防事業や地域ケア会議への出席が多かった(図1)。

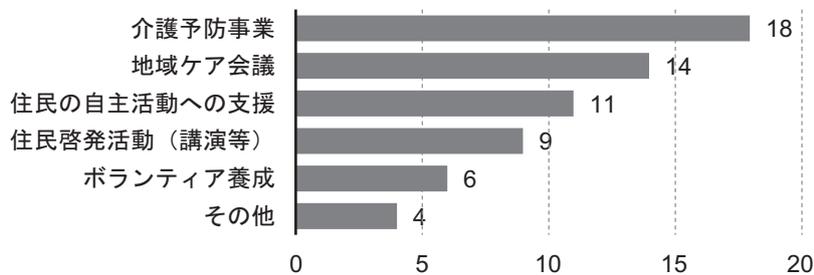


図1 理学療法士・作業療法士が関与している事業内容

②地域包括支援センターが考える介護予防事業及び地域ケア会議における理学療法士・作業療法士の役割

地域包括支援センターが考える介護予防事業における理学療法士・作業療法士の役割は、「運動及び認知症プログラムの立案」、「参加者個々のアセスメントと指導」が多く、「介護予防事業自体の進め方に関する助言や提案」もみられた(図2)。また、地域ケア会議においては、事例の「生活障害の要因や改善の見極め」、「活動性を高めるための具体的提案」が多く、事例の自立支援に関わる事項も見受けられた(図3)。

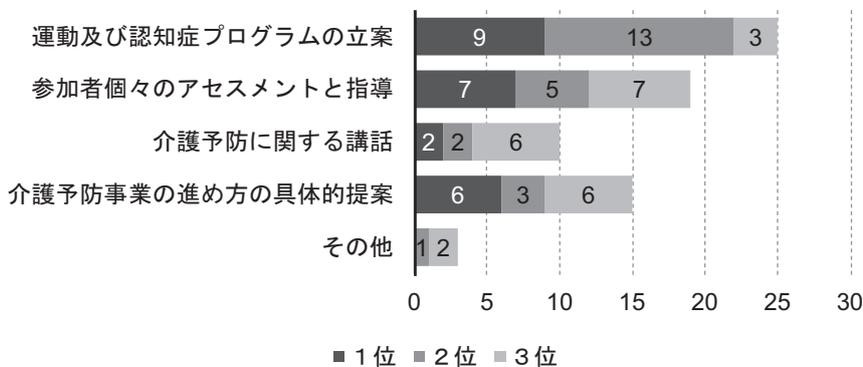


図2 介護予防事業における理学療法士・作業療法士の役割

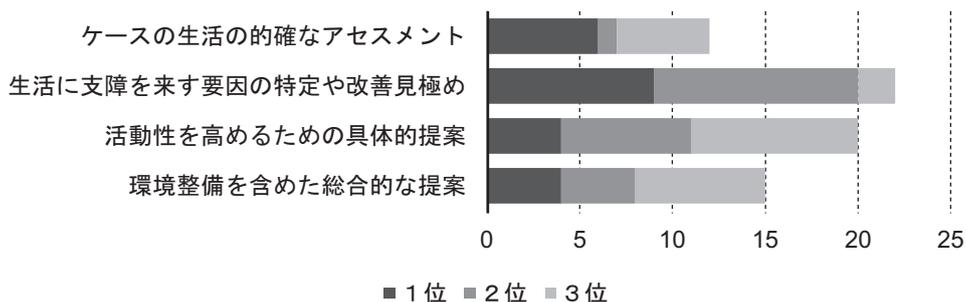


図3 地域ケア会議における理学療法士・作業療法士の役割

③地域包括支援センターが考える理学療法士・作業療法士の対応における課題

理学療法士・作業療法士の対応に関する課題としては、「専門職の確保」や「日中の派遣時間」など事業への理学療法士・作業療法士の参加に関わる事項が多かった。また、理学療法士・作業療法士の活用方法がわからないとする事項もみられた(図4)。

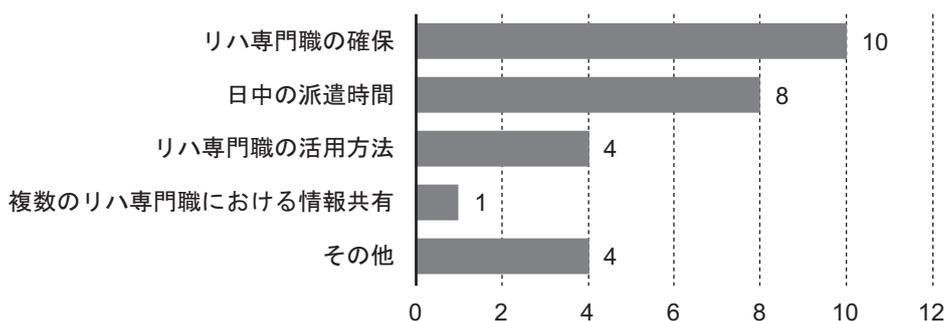


図4 理学療法士・作業療法士に関わる課題

④地域包括ケアに関わる理学療法士・作業療法士に対する要望

理学療法士・作業療法士に対する要望としては、介護予防プログラムに関することや事業への協力体制の整備などが多く挙げられ、また、「地域を理解し一緒に考えてほしい」という地域包括ケア構築に関わる連携と協働の要望もみられた。

【考察とまとめ】

地域包括支援センターは、地域包括ケアシステムの構築において、その中核をなす機関であり、介護予防事業、地域ケア会議等の事業に理学療法士・作業療法士の協力を希望していた。

地域包括ケアシステムの構築に向けて理学療法士及び作業療法士は、地域で応用できる専門性の確立や地域での連携体制を整備し、リハビリテーションの立場から対象者の自立支援と地域展開の推進に寄与すべきと考える。

(報告：理学療法学専攻 井口 茂)

## 2. 会議報告

### 1) 課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会

開催日：第1回 平成26年12月 1日

第2回 平成27年 1月14日

#### (1)第1回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事

日 時：平成26年12月1日(月) 17:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：9名

議 事：

##### 【報告・確認事項】

- ①GP組織の確認
- ②平成26年度事業の確認

##### 【審議事項】

- ①キックオフシンポジウムの開催要項について
- ②ホームページ作成について
- ③リーフレットの作成・配布について
- ④視察施設について
- ⑤課題分析のための調査について

#### (2)第2回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事

日 時：平成27年1月14日(水) 11:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：10名

議 事：

##### 【報告・確認事項】

- ①長崎臨床実習教育推進委員会及び長崎地域包括ケア教育推進委員会の進捗状況について
- ②外部委員の推薦について
- ③ホームページの開設について
- ④備品納入及び予算執行状況について
- ⑤キックオフシンポジウムについて
- ⑥リーフレット作成について
- ⑦行程表作成報告
- ⑧視察場所について
- ⑨平成26年度事業計画進捗状況確認表について

### 2) 長崎臨床実習教育推進委員会

開催日：第1回 平成26年12月 8日

第2回 平成26年12月22日

第3回 平成27年 1月 8日

#### (1)第1回長崎臨床実習教育推進委員会 議事

日 時：平成26年12月8日(月) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科 院生室2

参加総数：14名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①長崎臨床実習教育推進委員会の役割について
- ②平成26年度事業について
- ③検討プログラムの内容

**【審議事項】**

- ①臨床実習推進プログラムについて
- ②臨床指導者養成教育コースについて

**(2)第2回長崎臨床実習教育推進委員会 議事**

日 時：平成26年12月22日(月) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：12名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①臨床実習の課題分析に関わる調査について
- ②キックオフシンポジウムの開催要項について
- ③その他

**(3)第3回長崎臨床実習教育推進委員会 議事**

日 時：平成27年1月8日(月) 16:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：12名

議 事：

**【報告・審議事項】**

- ①臨床実習の課題分析に関わる調査内容の決定

**3) 長崎地域包括ケア教育推進委員会(ワーキング含む)**

開催日：第1回 平成26年12月 9日

第2回 平成26年12月22日

第3回 平成27年 1月 8日

ワーキング 平成27年 2月16日

**(1)第1回長崎地域包括ケア教育推進委員会 議事**

日 時：平成26年12月9日(火) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：9名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①本委員会の役割について
- ②平成26年度事業について
- ③プログラムの内容について

**【審議事項】**

- ①チーム医療実践教育プログラムについて

②地域包括ケア人材養成コースについて

**(2)第2回長崎地域包括ケア教育推進委員会 議事**

日 時：平成26年12月22日(月) 16:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：10名

議 事：

**【審議事項】**

①地域包括ケアに関する調査内容について

②外部委員の推薦について

**(3)第3回長崎地域包括ケア教育推進委員会 議事**

日 時：平成27年1月8日(木) 14:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：10名

議 事：

**【審議事項】**

①地域包括ケアに関する調査内容について

②外部委員の推薦について

**(4)ワーキング**

**【第1回 地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の関わりに関する検討会】**

日 時：平成27年2月16日 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：18名(外部委員8名、本学7名、事務3名)

議 題：地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の関わりについて事前アンケートに基づき外部関係者と検討する

**4) 課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会**

開催日：第1回 平成27年3月23日

平成27年3月27日

(2回に分けて実施)

**(1)第1回 課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会 議事**

日 時：平成27年3月23日(月) 18:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：12名(外部委員3名、本学7名、事務2名)

議 事：

**【報告・審議事項】**

①プログラム概要・組織について

②平成26年度事業報告

③平成27年度事業計画について

日 時：平成27年3月27日(金) 13:00～

場 所：ICT基盤センター

参加総数：5名(外部委員1名、本学3名、事務1名)

議 事：

**【報告・審議事項】**

- ①プログラム概要・組織について
- ②H26年度事業報告
- ③H27年度事業計画について
- ④遠隔授業・eラーニングシステムについて
- ⑤eラーニングにかかる著作権・肖像権について
- ⑥学習到達度の確認方法について





**Ⅲ. 平成27年度事業報告**





# 1. 活動報告

## 1) チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム

### 【教育目標】

本プログラムは、保健学科三専攻及び他学部(医学科・歯学部・薬学部)との共修や演習を設けることで多職種連携にかかる教育を推進し、また早期体験実習の導入や総合臨床実習前後の臨床教授等による講義、学内セミナーへの臨床実習指導者の参加などにより臨床実習教育を強化することを目的とする。このことにより、理学療法士・作業療法士を目指す学生の職業的アイデンティティを形成する。

### 【到達目標】

1. 自身が目指す医療専門職者(理学療法士・作業療法士)の役割を理解できる。
2. 理学療法士・作業療法士として対象者及び実習指導者と適切なコミュニケーションや態度を取ることができる。
3. 対象者を中心にしたチーム医療の実際を理解できる。
4. チーム医療を支える他医療専門職者(医師・看護師・理学療法士・作業療法士等)の役割を理解できる。
5. 病気や障害を持った対象者の生活を理解し、生活課題に対するアセスメントができる。
6. 理学療法・作業療法における評価-問題点抽出-プログラム立案-介入を通して効果検証やプログラムの妥当性について考察できる。

## (1) チーム医療実践教育プログラム

### ① 学科内共修授業

保健学科における以下の統合ケア関連科目にて看護学専攻・理学療法学専攻・作業療法学専攻の共修を行った。

#### 【入門科目】-早期病院見学-

対象学年：1年次生・前期2日間実施

目的：早期見学実習を通してクライアントの療養生活とチーム医療の現状を理解する。

内容：長崎大学病院と学外5施設のリハビリテーション病院でそれぞれ1日の見学実習を実施する。病棟・施設見学、リハビリテーション室の見学やクライアント及び病院スタッフとの会話等を体験する。

#### 【医療と社会I】-フィールドワーク-

対象学年：2年次生・後期

目的：「人の心の発達」、「性と生」、「高齢期を生きる」、「医療人と患者および家族との関係」の4つのテーマの講義、その後のフィールドワークによる体験を通して医療専門職者としての役割について考察する。

内容：講義の4つのテーマについて、看護学専攻・理学療法学専攻・作業療法学専攻の学生がグループでフィールドワークを行う。

#### 【統合ケア論】-模擬カンファレンス-

対象学年：3年次生・前期2コマ実施

目的：外部講師と教員との模擬カンファレンスを通して、看護師、理学療法士、作業療法士の役割を学び、チームアプローチを理解する。

内容：外部講師(ケアマネジャー及び医療ソーシャルワーカー)より提供された事例についてICF(国際生活機能分類)を用いて評価し、事例の自立支援に向けた支援内容を考察する。

#### 【統合ケア実習】

対象学年：4年次生・前期3日間実施

目的：看護学専攻・理学療法学専攻・作業療法学専攻の学生がグループで実習を行い、事例の生活障害を理解し、ケアマネジメントを実践する。

内 容：老人福祉施設・介護老人保健施設・訪問看護ステーション・リハビリテーション病院等にて三専攻の学生をグループ分けし、3日間の実習を行う。

**【離島の暮らしと保健医療】**

対象学年：4年次生

目 的：長崎県における島嶼部の地域医療を理解し、連携の在り方を学ぶとともに統合ケア実習での事例について討論し、生活機能障害の理解と支援の在り方を考察する。

内 容：統合ケア実習の事例について2～3の実習グループで構成したグループ討議を行う。

**②他学部共修授業**

医学科の未来医療研究人材養成拠点形成事業と共同で以下の科目で医学科・歯学部・薬学部・純心大学との共修を行った。

**【入門科目】**

対象学年：1年次生・前期2日間実施

共修学部：医学科・保健学科

目 的：診療の補助を体験することで、医療職としての意識や専門科目への導入を目的とする。

内 容：医学科・保健学科学生をグループ分けし、医療における診療の補助である血圧測定・超音波検査・心電図検査・車椅子操作・杖歩行などを体験する。

**【医療と社会Ⅰ】**

対象学生：2年次生・後期3コマ実施

共修学部：医学科・保健学科・純心大学現代福祉学科及び人間心理学科

目 的：学習背景の異なる大学及び学科とが医療・福祉系の枠を超えて共修の学びの場を通して、将来の多職種連携に繋がる医療と保健と福祉の視点を養う。

内 容：医学科・保健学科・純心大学の学生をグループ分けし、退院後の生活支援、生活習慣病、終末期、在宅生活の困難例等の模擬的4事例について、生活障害の評価及び支援内容について討議する。

**【離島の暮らしと保健医療】**

対象学生：4年次生・後期2コマ実施

共修学部：医学科・歯学部(5年次生)・薬学部・保健学科

目 的：学習背景の異なる学部・学科が共修の学びの場を通して、将来の多職種連携に繋がる医療と保健と福祉の視点を養うとともに各医療職種の役割を学ぶ。

内 容：医学科・歯学部・薬学部・保健学科の学生をグループ分けし、3事例を模擬的に提示し、各グループ1事例について退院前カンファレンスをロールプレイとして実施する。退院後の生活障害、医療的リスクを評価するとともに支援内容について討議する。



2年次の共修風景



4年次の共修風景

(2) 臨床実習推進プログラム

① 早期体験実習前セミナー

早期体験実習を控えた理学・作業療法学専攻1・2年次を対象に、「臨床実習における接遇・コミュニケーション」について、本学臨床教授による講義を実施した。

日 時：平成27年7月31日(木)

対 象：作業療法学専攻1・2年次

講 師：日本赤十字社長崎原爆病院 リハビリテーション科 佐賀里 昭 先生

日 時：平成28年1月28日(木) 16時～17時

対 象：理学療法学専攻1・2年次

講 師：日本赤十字社長崎原爆病院 リハビリテーション科 吉田佳弘 先生



② 総合臨床実習前セミナー

総合臨床実習を控えた理学・作業療法学専攻3年次を対象に、「臨床実習における心構えと学習方法」について、本学臨床教授による講義を実施した。

日 時：平成27年12月9日(水) 13時～14時

対 象：理学・作業療法学専攻3年次

講 師：虹が丘病院 リハビリテーション科 塩塚 順 先生



### ③総合臨床実習後セミナー

理学・作業療法学専攻3・4年次を対象とした総合臨床実習後の学内セミナーに、臨床実習指導者も参加し、「学生」-「教員」-「臨床実習指導者」の相互連携を図った。



## 2) 臨床指導者養成教育コース(「資料1 臨床指導者養成教育コース募集要項」参照)

### 【対象】

臨床実習教育に携わる理学療法士・作業療法士

### 【教育目標】

本プログラムは、eラーニングと集中講義を併用したリカレントプログラムによって、実習指導者に対して、最新の医療・保健情報や臨床的・クラークシップやコーチングを含む臨床実習教育関連情報を教授することによって、養成施設と連携しながら学生に対して主体的な臨床教育を実践できる人材を養成することを目標とする。

### 【到達目標】

1. 臨床実習指導者としての役割を理解できる。
2. 臨床実習指導者に求められるリハビリテーションの最新知識を習得する。
3. 臨床実習の教育目標に向けて、適切な臨床実習指導計画を立案することができる。
4. 学生の特性を理解した上で、適切な助言・指導を行うことができる。
5. 臨床実習において部門責任者やその他のスタッフと共通の目標、問題意識を持って行動することができる。
6. 職場内における臨床実習教育で中核的な役割を果たすことができる。

### 【カリキュラム】

理学療法及び作業療法の臨床教育方法の教授とそれを実践するOJT・実習モニタリング、臨床実習に関わる各疾患のトピックス的内容から構成した総時間120時間のコースである。

- 「臨床実習指導関連」 : eラーニングと集中講義(56時間)
- 「OJT・実習モニタリング」: 演習、職場内指導者によるOJT、教員によるモニタリング(24時間)
- 「情報アップデート」 : eラーニングと集中講義(40時間)

### 3) 地域包括ケア人材養成コース(「資料2 地域包括ケア人材養成コース募集要項」参照)

#### 【対 象】

長崎県内の理学療法・作業療法の業務に従事している者

#### 【教育目標】

本コースは、長崎県における地域リハビリテーション活動から培ってきた教育プログラムを提供し、地域包括ケアをマネジメントできる人材を養成することを目的とする。具体的には、各職種間の共通認識を構築するための国際生活機能分類(ICF)を用いた生活障害の分析と理解、地域で展開されている介護予防の理解と実践、地域ケア会議やサービス担当者会議等への参加によりケアマネジメントを実践する。このことにより、地域包括ケアに寄与できる指導力を有する理学療法士・作業療法士を養成する。

#### 【到達目標】

1. 地域包括ケアの背景を理解し、必要な理論を習得する。
2. 地域包括ケアに関わる関連機関及び職種の役割を理解できる。
3. 介護予防の理論と住民活動への支援の意義を理解できる。
4. 国際生活機能分類(ICF)を用いて、対象者のケアマネジメントにおける課題分析とその対応方法を実践できる。
5. 医療・介護・福祉の連携について理解できる。
6. 地域で展開されている介護予防事業や地域ケア会議に参画し、地域リハビリテーションの立場からマネジメントできる。

#### 【カリキュラム】

地域包括ケアシステム、地域の理解、介護予防の理論と実際、ICFの理論、地域ケア会議ならびにケアマネジメントに関する講義と、介護予防事業や地域ケア会議ならびにサービス担当者会議への参加によりケアマネジメントを実践する実習演習から構成している。「地域包括ケアシステムと関連機関を知る」、「地域包括ケアシステム推進に向けた実践とマネジメント」、「総括」の3ステージからなる総時間120時間のコースである。

#### 4) フォーラム

##### (1)地域包括ケア人材養成コース推進フォーラム

日 時：平成 27 年 7 月 11 日（土） 13：30～17：00

場 所：長崎大学医学部保健学科 101 講義室

参加者数：176 名

内 容：

開会あいさつ 長崎大学医学部保健学科長 田中 悟郎

事業報告 「課題解決型高度医療人材養成プログラム概要説明」  
長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター 井口 茂

講演 「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職の役割」  
大阪府大東市保健医療部 高齢支援課 理学療法士 逢坂 伸子 先生

シンポジウム 「行政・関係機関からみた地域包括ケアシステムの中での  
リハビリテーション専門職の役割」  
「長崎県における地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み」  
長崎家福祉保健部長寿社会課 田島 玲悟 先生

「地域包括支援センターの立場からみたリハビリテーション専門職の役割」  
佐々町地域包括支援センター 江田 佳子 先生

「ケアマネジャーの立場からみたリハビリテーション専門職の役割」  
長崎市介護支援専門員連絡協議会 榎本 哲子 先生

閉会あいさつ 長崎大学理事 副学長 松坂 誠應





文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
 高度リハビリテーション専門職の養成  
 —長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—  
 Training Program for Advanced Rehabilitation Professionals

# 地域包括ケア人材養成コース 推進フォーラム

日時：平成27年7月11日(土)13:30~17:00

会場：長崎大学医学部保健学科 101講義室  
 長崎市坂本1-7-1

参加費：無料



## 開催概要

本プログラムでは、地域包括ケアをマネジメントできる高度な理学・作業療法士、質の高い臨床実習指導者の輩出を目的に、「地域包括ケア人材養成コース」と「臨床指導者養成教育コース」を設けています。今回は、「地域包括ケア人材養成コース」推進フォーラムと題し、行政や関係機関からみた地域包括ケアシステムにおけるリハ専門職の役割について、講演、シンポジウムを行います。多くのおみなさまのご参加をお待ちしています。

**主催：長崎大学医学部保健学科**

**後援：公益社団法人長崎県理学療法士協会  
 一般社団法人長崎県作業療法士会**

問い合わせ先：長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター  
 〒852-8520 長崎市坂本1-7-1 TEL/FAX 095-819-7937

(2)高度リハビリテーション専門職の養成推進フォーラム

日 時：平成 27 年 10 月 31 日（土） 13：30～17：00

場 所：長崎大学医学部良順会館 2 階「ボードインホール」

参加者数：163 名

内 容：

開会あいさつ 長崎大学保健学科長 田中 悟郎

事業報告 「課題解決型高度医療人材養成プログラム概要説明」  
長崎大学医学部保健学科保健学実践教育研究センター 井口 茂

講演 1 「今後の医療・介護の動向に対応できる理学療法士の育成」  
日本理学療法士協会 会長 半田 一登 先生

講演 2 「生活の再構築と社会参加に向けた作業療法士の役割」  
日本作業療法士協会 会長 中村 春基 先生

意見交換 「理学療法士・作業療法士における現状の課題と今後の展望」  
～大学教育における学内・リカレント教育の融合に向けて～

閉会あいさつ 長崎大学理事 副学長 松坂 誠應





文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
 高度リハビリテーション専門職の養成  
 —長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—  
 TPARP Training Program for Advanced Rehabilitation Professionals

# 高度リハビリテーション専門職の養成 推進フォーラム

**日時** 平成27年10月31日(土) 13:30~17:30(12:30受付開始)

**会場** 長崎大学医学部 良順会館2階「ボードインホール」  
 (長崎市坂本1丁目12-4)

**参加費** 無 料(E-mailまたはFAXにてお申込みください)

**駐車場はございません。公共交通機関でのご来場をお願いします。**

## 開催概要

長崎大学における「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業も2年目を迎え、「臨床指導者養成教育コース」及び「地域包括ケア人材養成コース」のカリキュラムも決まり、次年度開講に向けた具体的な準備に入っています。今回のフォーラムのテーマを「理学療法士・作業療法士における現状の課題と今後の展望」とし、日本理学療法士協会半田会長及び日本作業療法士協会中村会長をお招きし、理学療法士・作業療法士にご提言をいただくこととなりました。多くのおみなさまのご参加をお願いいたします。



半田 一登 先生

### 13:30~ 開会挨拶

長崎大学医学部保健学科 学科長 田中 悟郎

### 13:50~ 講演 1

## 「今後の医療・介護の動向に適應できる理学療法士の育成」

公益社団法人 日本理学療法士協会 会長 半田 一登 先生



中村 春基 先生

### 15:30~ 講演 2

## 「生活の再構築と社会参加に向けた作業療法士の役割 ~生活行為向上マネジメントの活用~」

一般社団法人 日本作業療法士協会 会長 中村 春基 先生

**主 催**：長崎大学医学部保健学科  
**後 援**：公益社団法人 長崎県理学療法士協会  
 一般社団法人 長崎県作業療法士会

問い合わせ先：長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター  
 〒852-8520 長崎市坂本1-7-1 TEL/FAX 095-819-7937  
 E-mail : kadai\_ptotgp2@ml.nagasaki-u.ac.jp  
 http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp/

(3)臨床指導者養成教育コース推進フォーラム

日 時：平成 28 年 1 月 23 日 (土) 13：30～17：00

場 所：長崎大学医学部保健学科 101 講義室

参加者数：86 名

内 容：

開会あいさつ 長崎大学理事 副学長 松坂 誠應

事業報告 「課題解決型高度医療人材養成プログラム概要説明」  
長崎大学医歯薬学総合研究科 東 登志夫

特別講演 「クリニカル・クラークシップを活用した臨床実習教育の必要性」  
株式会社リハステージ事業本部副本部長  
セラピストのためのクリニカル・クラークシップ研究会副会長  
吉川 法生 先生

シンポジウム 「クリニカル・クラークシップを活用した臨床実習教育の実際」  
「産業医科大学病院における理学療法臨床実習教育の実際」  
産業医科大学病院リハビリテーション部副技師長 明日 徹 先生

「柳川リハビリテーション病院における作業療法臨床実習教育の実際」  
柳川リハビリテーション病院作業療法室室長 松野 豊 先生

閉会あいさつ 長崎大学医学部保健学科長 田中 悟郎





文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
 高度リハビリテーション専門職の養成  
 —長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—  
 Training Program for Advanced Rehabilitation Professionals

# 臨床指導者養成教育コース 推進フォーラム

**日時** 平成28年1月23日(土) 13:30~17:00(12:30受付開始)

**会場** 長崎大学医学部保健学科 101 講義室  
 (長崎市坂本1丁目7-1)

**参加費** 無 料(ホームページの申込みフォームからお申込みください)

駐車場はございません。公共交通機関でのご来場をお願いします。



**開  
 催  
 概  
 要**

長崎大学における「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業の「臨床指導者養成教育コース」は4月からの開講に向け、準備の最終段階に入っています。

今回のフォーラムでは、テーマを「臨床実習教育」とし、セラピストのための臨床実習教育研究会 副会長 吉川法生先生による特別講演に加え、実習施設側のお立場から産業医科大学病院 明日徹先生、柳川リハビリテーション病院 松野豊先生をお招きし、臨床実習教育の実践のお話をさせていただきます。是非、多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

**主 催**：長崎大学医学部保健学科  
**後 援**：公益社団法人 長崎県理学療法士協会  
 一般社団法人 長崎県作業療法士会

問い合わせ先：長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター  
 〒852-8520 長崎市坂本1-7-1 TEL/FAX 095-819-7937  
<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp/>

## 5) 視察報告

### (1)大阪府立大学

日 時：平成 27 年 8 月 10 日 (月)

会 場：大阪府立大学 羽曳野キャンパス

参 加 者：大阪府立大学 高畠 進一 教授、淵岡 聡 教授、樋口 由美 教授  
本学 井口、東

協議事項：①大阪府立大学の事業進捗状況について

②本学の事業進捗状況について

③e ラーニング作成について

④学内教育について (カリキュラム・クォーター制など)

⑤意見交換



日 時：平成 27 年 11 月 5 日 (木)

会 場：長崎大学医学部保健学科

参 加 者：大阪府立大学 高畠 進一 教授、淵岡 聡 教授、樋口 由美 教授  
本学 田中(悟)、井口、東、田中(浩)、磯

協議事項：①大阪府立大学の e ラーニング受講システムに関する説明・コンテンツ視聴

②本学の e ラーニング受講システムに関する説明・コンテンツ視聴



(2)北海道大学

日 時：平成 27 年 9 月 8 日 (月)  
 会 場：北海道大学医学部保健学科作業療法学専攻  
 参 加 者：北海道大学 八田 達夫 教授  
 本学 東、磯  
 協議事項：①本学の事業概要について  
 ②北海道大学における臨床実習指導について  
 ③意見交換



(3)秋田大学

日 時：平成 27 年 11 月 5 日 (木)  
 会 場：秋田大学医学部保健学科  
 参 加 者：秋田大学 佐竹 将宏 教授、工藤 俊輔 教授、塩谷 隆信 教授、若狭 正彦 准教授  
 本学 沖田、神津、平瀬  
 協議事項：①本学の事業概要について  
 ②秋田大学における臨床実習指導について  
 ③意見交換



## 2. 会議報告

### 1) 課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会

開催日：第1回：平成27年 4月 7日    第2回：平成27年 5月12日  
第3回：平成27年 6月 9日    第4回：平成27年 7月 7日  
第5回：平成27年 8月 4日    第6回：平成27年 9月11日  
第7回：平成27年10月16日    第8回：平成27年11月13日  
第9回：平成27年12月15日    第10回：平成28年 1月19日  
第11回：平成28年 2月10日

#### (1) 第1回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事

日 時：平成27年4月7日(火) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

##### 【報告・確認事項】

- ①平成26年度実績報告
- ②平成27年度事業の確認
- ③その他

#### (2) 第2回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事

日 時：平成27年5月12日(火) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

##### 【報告事項】

- ①リカレント教育2コースの開講時期について
- ②各カリキュラム委員会報告
- ③ロゴマーク作成の進捗状況について
- ④平成27年度予算について
- ⑤eラーニングコンテンツ作成方法について
- ⑥事務職員の採用について

##### 【審議事項】

- ①本プログラムの組織の確認
- ②平成27年度「地域包括ケア人材養成コース推進フォーラム」について
- ③平成27年度「高度リハビリテーション専門職の養成推進フォーラム」について
- ④平成27年度「臨床指導者養成教育コース推進フォーラム」について

#### (3) 第3回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事

日 時：平成27年6月9日(火) 16:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

##### 【報告・確認事項】

- ①各カリキュラム委員会報告

- ②平成27年度各フォーラムについて
- ③本プログラムの組織について
- ④平成27年度予算について
- ⑤事務職員の採用について

**(4)第4回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成27年7月7日(火) 16:40～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①各カリキュラム委員会報告
- ②平成27年度各フォーラムについて
- ③各教育推進委員会の開催について
- ④平成27年度視察について
- ⑤平成27年度予算について

**【審議事項】**

- ①eラーニングコンテンツ作成について
- ②eラーニング受講システムについて
- ③臨床教授を招いた懇談会の開催について

**(5)第5回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成27年8月4日(火) 16:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①プログラム進捗状況報告
- ②平成27年度各フォーラムについて
- ③本年度視察について
- ④臨床教授を招いた懇談会について
- ⑤年度ごとの報告書作成について
- ⑥ホームページ上のフォーラム申込みフォーム設定について
- ⑦平成27年度予算について

**【審議事項】**

- ①臨床指導者養成教育コース募集要項について
- ②学内プログラムと臨床指導者養成コースとのリンクについて
- ③総合臨床実習後学生アンケートについて

**(6)第6回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成27年9月11日(金) 10:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：8名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①プログラム進捗状況報告
- ②平成27年度各フォーラムについて
- ③視察報告
- ④臨床教授を招いた懇談会について
- ⑤平成27年度予算について
- ⑥ホームページ上のフォーラム申込みフォーム設定について

**(7)第7回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成27年10月16日(金) 10:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：8名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①プログラム進捗状況報告
- ②平成27年度各フォーラムについて
- ③本プログラムと日本作業療法士協会生涯教育プログラムとのリンクについて
- ④大阪府立大学との意見交換会について

**【審議事項】**

- ①平成27年度予算執行状況について
- ②平成28年度予算について

**(8)第8回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成27年11月13日(金) 10:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①プログラム進捗状況報告
- ②平成27年度各フォーラムについて
- ③視察報告
- ④フォーラム申込みフォームの作成について
- ⑤平成27年度事業計画進捗状況

**【審議事項】**

- ①平成26年度報告書について
- ②平成27年度予算執行状況について

**(9)第9回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成27年12月15日(金) 16:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：8名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①プログラム進捗状況報告
- ②各教育推進委員会について
- ③平成27年度各フォーラムについて
- ④平成26年度報告書について
- ⑤本プログラムと日本作業療法士協会／日本理学療法士協会とのリンクについて
- ⑥平成27年度事業計画・予算執行状況について
- ⑦事務職員について

**【審議事項】**

- ①平成28年度予算案について
- ②講師等のマイナンバー提出手続きについて

**(10)第10回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成28年1月19日(火) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：9名(管理部2名含む)

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①平成27年度事業計画・予算執行状況について
- ②プログラム進捗状況報告
- ③長崎地域包括ケア教育推進委員会実施報告
- ④平成27年度各フォーラムについて

**【審議事項】**

- ①平成28年度予算案について
- ②平成26・27年度報告書について

**(11)第11回課題解決型高度医療人材養成プログラム推進委員会 議事**

日 時：平成28年2月10日(水) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：8名

議 事：

**【報告・確認事項】**

- ①プログラム進捗状況報告
- ②臨床指導者養成教育コース推進フォーラム報告
- ③平成27年度事業計画・予算執行状況について

**【審議事項】**

- ①平成28年度予算案について
- ②平成26・27年度報告書について
- ③その他

## 2)長崎臨床実習教育推進委員会

開催日：第1回：平成27年 4月14日 第2回：平成27年 5月15日  
第3回：平成27年 7月31日 第4回：平成27年12月14日

### (1)第1回長崎臨床実習教育推進委員会 議事

(第1回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 合同開催)

日 時：平成27年4月14日(火) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：11名

議 事：

#### 【報告・審議事項】

- ①平成27年度の事業確認
- ②長崎臨床実習教育推進委員会について
- ③臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会の役割について
- ④本委員会と臨床指導者養成教育コース委員会委員による視察について
- ⑤カリキュラムについて
- ⑥eラーニングコンテンツ作成について

### (2)第2回長崎臨床実習教育推進委員会 議事

日 時：平成27年5月15日(金) 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：9名(外部委員2名、本学7名)

議 事：

#### 【報告事項】

- ①本プログラム概要および進捗状況について
- ②本プログラムの今後の予定

#### 【審議事項】

- ①臨床実習推進プログラムカリキュラムについて
- ②臨床指導者養成教育コースカリキュラムについて

### (3)第3回長崎臨床実習教育推進委員会 議事

日 時：平成27年7月31日(金) 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：11名(外部委員2名、本学9名)

議 事：

#### 【報告・審議事項】

- ①チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラムについて
- ②臨床指導者養成教育コースについて

### (4)第4回長崎臨床実習教育推進委員会 議事

日 時：平成27年12月14日(月) 19:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：12名(外部委員2名、本学10名)

議 事：

#### 【報告事項】

- ①チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラムについて
- ②臨床指導者養成教育コースについて

### 3)臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会

開催日：第1回：平成27年 4月20日 第2回：平成27年 5月14日  
 第3回：平成27年 5月28日 第4回：平成27年 6月18日  
 第5回：平成27年 7月16日 第6回：平成27年11月16日  
 第7回：平成27年11月27日

#### (1)第1回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事

日 時：平成27年4月 20日(月) 14：30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

##### 【報告・審議事項】

- ①平成27年度の事業確認
- ②本委員会について
- ③カリキュラムの作成について

#### (2)第2回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事

日 時：平成27年5月14日(木) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

##### 【報告・審議事項】

- ①カリキュラムについて
- ②プログラム評価について

#### (3)第3回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事

日 時：平成27年5月 28日(木) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

##### 【報告・審議事項】

- ①カリキュラムについて
- ②総合臨床実習後セミナー案内文書について
- ③プログラム評価について

#### (4)第4回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事

日 時：平成27年6月18日(木) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：7名

議 事：

##### 【報告・審議事項】

- ①カリキュラムについて
- ②プログラム評価について

**(5)第5回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年7月16日(木) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科チュートリアル107号室

参加総数：7名

議 事：

**【報告事項】**

①総合臨床実習Ⅱアンケート結果報告

②総合臨床実習Ⅱ後セミナーについて

**【審議事項】**

①プログラム評価について

②臨床実習(1・2年次)におけるアンケートについて

**(6)第6回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年11月16日(月) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科チュートリアル107号室

参加総数：7名

議 事：

**【報告事項】**

①総合臨床実習Ⅲアンケート結果報告

②総合臨床実習Ⅲ後セミナーについて

③実習前セミナーについて

**【審議事項】**

①臨床実習(1・2年次)評価について

②プログラム(総合臨床実習)評価について

**(7)第7回臨床実習推進プログラムカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年11月27日(金) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【報告・審議事項】**

①学部教育の臨床実習推進に向けた本プログラムの役割について

**4)臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会**

開催日：第1回：平成27年 4月14日 第2回：平成27年 4月28日

第3回：平成27年 5月12日 第4回：平成27年 5月26日

第5回：平成27年 6月 9日 第6回：平成27年10月 5日

第7回：平成27年11月 4日 第8回：平成27年12月 2日

第9回：平成28年 1月 6日 第10回：平成28年 2月 9日

**(1)第1回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

(第1回長崎臨床実習教育推進委員会 合同開催)

日 時：平成27年4月14日(火) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：11名

議 事：2)－(1)参照

**(2)第2回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年4月28日(火) 14：30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：5名

議 事：

**【審議事項】**

- ①本コースカリキュラムについて
- ②本コース推進フォーラムについて
- ③視察について
- ④長崎臨床実習教育推進委員会開催について

**(3)第3回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年5月12日(火) 14：30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：5名

議 事：

**【審議事項】**

- ①本コースカリキュラムについて
- ②本コース推進フォーラムについて
- ③視察について

**(4)第4回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年5月26日(火) 16：30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【審議事項】**

- ①本コースカリキュラムについて
- ②本コース推進フォーラムについて
- ③視察について

**(5)第5回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年6月9日(火) 15:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：5名

議 事：

**【報告事項】**

- ①平成27年度本コース推進フォーラムについて
- ②各大学への視察について

**【審議事項】**

- ①本コースカリキュラムについて
- ②講義コンテンツ作成スケジュールについて
- ③開講時期について
- ④講師への依頼文書について

**(6)第6回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年10月5日(月) 9:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科チュートリアル107号室

参加総数：7名

議 事：

**【報告事項】**

- ①本コース進捗状況について
- ②平成27年度本コース推進フォーラムについて
- ③視察報告

**【審議事項】**

- ①本コースカリキュラムについて
- ②募集要項について
- ③平成28年度視察について
- ④平成28年度フォーラム日程・講師について
- ⑤外部講師からの問い合わせへの対応について
- ⑥プログラム評価について

**(7)第7回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年11月4日(水) 16:40～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【報告事項】**

- ①本コース進捗状況について
- ②eラーニング外部講師への説明会について
- ③平成27年度本コース推進フォーラムについて
- ④今後のスケジュールについて

**【審議事項】**

- ①本コースカリキュラムについて
- ②募集要項について
- ③平成28年度視察について
- ④平成28年度フォーラム日程・講師について
- ⑤外部講師からの問い合わせへの対応について
- ⑥プログラム評価について

**(8) 第8回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年12月2日(水) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【報告事項】**

- ①本コース進捗状況について
- ②平成27年度本コース推進フォーラムについて
- ③日本理学療法士・作業療法士協会との教育ポイントとのリンクについて

**【審議事項】**

- ①平成28年度受講者オリエンテーションについて
- ②OJT・実習モニタリングチェックリストについて
- ③プログラム評価について

**(9) 第9回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成28年1月6日(水) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【報告事項】**

- ①本コース出願に関する問い合わせへの対応について
- ②平成27年度本コース推進フォーラムについて

**【審議事項】**

- ①本コースの教育目標・到達目標について
- ②OJT・実習モニタリングチェックリストについて
- ③プログラム評価について
- ④今後のスケジュールについて

**(10) 第10回臨床指導者養成教育コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成28年2月9日(火) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：6名

議 事：

**【報告事項】**

- ①平成27年度本コース推進フォーラムについて
- ②平成28年度受講者募集について

**【審議事項】**

- ①平成28年度受講者の選考について
- ②本コースの教育目標・到達目標について
- ③OJT・実習モニタリングに係る書式について
- ④受講者オリエンテーションについて
- ⑤平成28年度本コース修了式について
- ⑥平成28年度本コース推進フォーラムについて

## 5)長崎地域包括ケア教育推進委員会(ワーキング含む)

開催日：第1回：平成27年 4月17日 第2回：平成27年 7月13日

第3回：平成28年 1月 6日 ワーキング：平成27年 5月13日

### (1)第1回長崎地域包括ケア教育推進委員会 議事

(第1回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 合同開催)

日 時：平成27年4月17日(金) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：9名

議 事：

#### 【報告・審議事項】

- ①本年度の事業確認
- ②本委員会について
- ③地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会について
- ④本委員会と地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会委員による視察について
- ⑤地域包括ケア人材養成コースカリキュラムについて
- ⑥eラーニングコンテンツ作成について

### (2)第2回長崎地域包括ケア教育推進委員会 議事

日 時：平成27年7月13日(月) 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：7名(外部委員2名、本学5名)

議 事：

#### 【報告事項】

- ①本委員会とカリキュラム委員会の構成委員について
- ②平成27年度地域包括ケア人材養成コース推進フォーラムについて

#### 【審議事項】

- ①地域包括ケア人材養成コースカリキュラムについて
- ②その他

### (3)第3回長崎地域包括ケア教育推進委員会 議事

日 時：平成28年1月6日(水) 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：11名(外部委員2名、本学9名)

議 事：

#### 【報告事項】

- ①今後の予定について

#### 【審議事項】

- ①地域包括ケア人材養成コースカリキュラム内容について
- ②地域包括ケア人材養成コース募集要項について
- ③地域包括ケア人材養成コースの効果判定について

**(4)ワーキング**

「第2回 地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の関わりに関する検討会」

日 時：平成27年5月13日(水) 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：16名(外部委員9名、本学7名)

議 事：

**【報告事項】**

- ①第1回検討会報告
- ②事前アンケートについて
- ③地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会報告
- ④本プログラムの今後の予定について

**【審議事項】**

- ①地域包括ケアに関するリハ職の研修内容について

**6)地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会**

開催日：

第1回：平成27年 4月17日 第2回：平成27年 4月30日

第3回：平成27年 5月 8日 第4回：平成27年 5月15日

第5回：平成27年 5月28日 第6回：平成27年 6月17日

第7回：平成27年 6月29日 第8回：平成27年 8月24日

第9回：平成27年 9月 7日 第10回：平成27年 9月16日

第11回：平成27年12月24日 第12回：平成28年 1月14日

第13回：平成28年 2月 2日

**(1)第1回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

(第1回長崎地域包括ケア教育推進委員会 同時開催)

日 時：平成27年4月17日(金) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：9名

議 事：5)－(1)参照

**(2)第2回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年4月30日(木) 13:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【報告事項】**

- ①平成27年度本コース推進フォーラムについて

**【審議事項】**

- ①カリキュラムの講義および実習・演習時間の配分について
- ②カリキュラムの講座について

**(3)第3回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年5月8日(金) 13:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：5名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラムの内容について

**(4)第4回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年5月15日(金) 13:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：3名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラムの実習施設について

②実習・演習の時間配分について

**(5)第5回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年5月28日(木) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：5名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラムの実習・演習の内容と時間配分について

②カリキュラムの講座名と内容について

**(6)第6回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年6月17日(水) 17:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラム講座名と内容、講師について

**(7)第7回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年6月29日(月) 14:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラム講座名と内容、講師について

**(8)第8回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年8月24日(月) 16:10～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：5名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラム講座名と内容、講師について

②平成27年度本コース推進フォーラムアンケート結果について

**(9)第9回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年9月7日(月) 16:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラム講座名と内容、講師について

**(10)第10回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年9月16日(水) 16:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラムの講師について

②平成28年度本コース推進フォーラムの内容について

**(11)第11回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成27年12月24日(木) 18:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【審議事項】**

①カリキュラム内容・講師の最終決定について

②講師一覧

③講師への依頼文書一式について

④集中講義について

⑤募集要項について

⑥その他

**(12)第12回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成28年1月14日(木) 17:00～

場 所：長崎大学医学部保健学科長室

参加総数：4名

議 事：

**【審議事項】**

- ①カリキュラム内容・講師の最終決定について
- ②本コースの教育目標・到達目標について
- ③募集要項について
- ④集中講義について
- ⑤講師への依頼説明担当者ならびに文書について

**(13)第13回地域包括ケア人材養成コースカリキュラム委員会 議事**

日 時：平成28年2月2日(火) 17:00～

場 所：107チュートリアル室

参加総数：6名

議 事：

**【報告・審議事項】**

- ①募集要項について
- ②集中講義について
- ③平成28年度本コース推進フォーラムについて
- ④eラーニング講師への依頼説明について

**7)課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会**

**(1)課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員会 議事**

日 時：平成28年2月16日(火) 18:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科 会議室

参加総数：8名(外部委員2名, 本学6名)

議 事：

**【報告・審議事項】**

- ①平成27年度事業計画・予算執行状況報告
- ②平成27年度事業報告
- ③eラーニング受講コンテンツならびに受講について
- ④平成28年度事業計画について



**IV. 総 括**





文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
高度リハビリテーション専門職の養成－長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム－

## 平成 26・27 年度事業総括

### 1. プロジェクトリーダーの立場より

長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター 井 口 茂

平成26年8月に文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」事業の採択を受け、その直後より、プロジェクトを円滑に稼働すべく各委員会の設置などプロジェクト組織の構築や本プログラムの根幹を成す、eラーニングの導入方法の検討、ICT環境の整備から着手いたしました。平成27年度は、「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム(学内教育)」と「高度リハビリテーション専門職養成プログラム(リカレント教育)」の各プログラムのカリキュラムの検討を重ね、臨床指導者養成教育コースのeラーニング撮影に至りました。また本プログラムの周知のため、キックオフシンポジウムの開催及び各プログラムの推進フォーラムを計4回開催いたしました。

学内教育である「チーム医療実践教育・臨床実習推進プログラム」のカリキュラムについては、臨床実習指導者による特別講義の実施や臨床実習終了後のセミナーに臨床実習指導者の参加を促し、臨床実習指導者－学生－教員の相互関係を築きつつあるものと考えます。

リカレント教育である「臨床指導者養成教育コース」と「地域包括ケア人材養成コース」では特色あるカリキュラムを作成することができたものと考えます。両コースとも総計120時間の時間数となり、「臨床指導者養成教育コース」では学内教員の専門分野を基に臨床実習に関わるトピック的内容を「情報アップデート」とし40時間、臨床ガイドラインを基軸とした「臨床実習指導関連」80時間を設定することができました。「臨床実習指導関連」の中にはコーチング論やクリニカル・クラークシップ論も含み、本プログラムの特徴であるOJT・実習モニタリングの演習をカリキュラムの基礎と位置づけました。「地域包括ケア人材養成コース」のカリキュラムでは、eラーニングだけでなく月1回の集中講義も設定し、地域包括ケアに関わる他職種からの講義で構成しました。さらに地域での演習やケースマネジメントの実習を通して地域包括ケアの実践力を培うことを目的としました。両カリキュラムの作成に際して、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

この2年間の準備期間を経て、いよいよ平成28年度よりプログラムが開始します。本プログラムがどのような効果をもたらすか楽しみであり、理学療法・作業療法学の教育及び地域包括ケアに波及することを期待しています。

## 2. 課題解決型高度医療人材養成プログラム評価委員の立場より

和仁会病院 沖 英 一

本事業の目的である質の高い臨床実習指導者、地域包括ケアをマネジメントできる高度分析力を持つ理学療法士・作業療法士の養成が、近年求められています。

臨床実習の課題分析において、幅広い分野でアンケート調査が実施されており現在の臨床現場の状況が詳細に分析されています。この結果から新たな臨床実習教育の習得が求められていることがわかります。

また、「地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の関わり」に関しては、これから始まる総合事業に対して地域包括ケアシステムの中核をなす機関である地域包括支援センターからリハビリテーション専門職に大きな期待が寄せられていることがわかります。

臨床実習指導者養成教育コースは、理学療法・作業療法の各疾患にかかわるトピック的な内容から臨床的・クラークシップ、コーチング論などを含めて 120 時間と充実した内容となっています。

地域包括ケア人材養成コースでは、生活障害の分析・ケアマネジメント論・地域包括支援センターの理解・介護予防論の講義に加えて、地域包括ケア実習として各地で開催される地域ケア会議・サービス担当者会議に参加する体験型学習となっており、今まさに地域の中で必要とされている内容となっています。

この2つのプログラムには、職場における指導者養成と若手専門職の養成も兼ねています。現在、多くの療法士が病院・施設の中で対象者に個別の訓練を行っており、それ以外の地域の中で働く療法士の数は少ないのが現状です。今後、「地域リハビリテーション活動支援事業」として地域包括ケアシステムの中で多職種とともに個別の課題解決から地域の課題まで解決できるマネジメント能力・指導力が求められています。

受講者一人一人が、このプログラムで学んだことを職場内の臨床実習にどれほど反映できるのか、忙しい臨床現場の中で、経験が少ない若いスタッフに対して地域包括ケアシステムにおける療法士の役割についてどのように教育していくのが課題となると考えます。



**資 料**



**資料 1**

臨床指導者養成教育コース 平成 28 年度募集要項

**資料 2**

地域包括ケア人材養成コース 平成 28 年度募集要項



文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
高度リハビリテーション専門職の養成  
ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー

臨床指導者養成教育コース

平成 28 年度

**受講者募集要項**

長崎大学医学部保健学科

# 目 次

1. 高度リハビリテーション専門職の養成 ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー 概要	
1) 目的 .....	2
2) 臨床指導者養成教育コース概要 .....	3
2. 受講者募集要項	
1) 募集人員 .....	5
2) 出願資格 .....	5
3) 出願手続き・方法 .....	5
4) 受講者選抜方法 .....	5
5) 受講者への受講通知 .....	6
6) 受講手続き .....	6
7) 個人情報保護について .....	6
8) 出願に関する注意事項 .....	6
9) 出願に関する問い合わせ先 .....	6

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
高度リハビリテーション専門職の養成  
ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー

概 要

1) 目的

文部科学省は、医療人材の養成の充実を目的として平成 26 年度に「課題解決型高度医療人材養成プログラム」を開始しました。その内容は、高度な教育力・技術力を有する大学が核となり、わが国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムを実践・展開する取り組みです。

長崎大学医学部保健学科では、本プログラムに応募し平成 26 年 7 月に「高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー」として採択されました。

本プログラムは、①地域包括ケアの中でチームアプローチを実践できる理学・作業療法士の輩出、②質の高い臨床実習指導者の輩出、③地域包括ケアをマネジメントできる高度な理学・作業療法士の輩出を目的としたプログラムであり、リカレント教育として、「臨床指導者養成教育コース」と「地域包括ケア人材養成コース」を設定いたしました。

「臨床指導者養成教育コース」では、本学が培ってきた学術・研究成果に基づく EBM 実践の教授と、臨床教授等の経験ある理学・作業療法士の活用による実習における教育論の講義及び演習を通して、臨床実習の指導内容の充実、さらに職場内教育における指導者養成と若手専門職に対する臨床教育も目的としています。また、本コースでは、eラーニングを導入し、島嶼部で従事している多くの理学療法士・作業療法士も受講できるプログラムとなっており、全国でも応用できるプログラムとして発信していきたいと考えています。

## 2) 「臨床指導者養成教育コース」の概要

### (1) 目的

本学が培ってきた学術・研究成果に基づく EBM 実践の教授と臨床教授等の経験ある理学・作業療法士の活用による実習における教育論の講義及び演習を通して臨床実習の指導内容の充実，さらに職場内教育における指導者養成と若手専門職に対する臨床教育も目的としています。

### (2) 開講期間 平成28年4月1日～9月30日

### (3) カリキュラム

理学療法及び作業療法の臨床実習に関わる各疾患のトピックス的内容，臨床教育方法の教授とそれを実践する OJT・実習モニタリングから構成しています。

「情報アップデート」，「臨床実習指導関連」，「OJT・実習モニタリング」からなる総時間 120 時間のコースです。

#### 【情報アップデート科目】※すべて e ラーニングにて受講

開講時期	講座名	科目名	時間	
4-9月	機能障害科学特論	痛み	8	24 ※3 講座 以上選択
		関節可動域制限		
		筋力低下		
4-9月	リハビリテーション 研究法特論	研究方法概論	8	
		基礎研究		
		臨床研究		
		メタアナリシスとシステマティックレビュー		
4-9月	EBM 実践特論（課題学習，電子メール等による遠隔指導に基づくメタアナリシスの演習）		8	
	機能解剖学特論（肉眼解剖観察実習）		8	
	ペイン リハビリテーション トピックス	痛みの評価	8	
		急性痛に対するリハビリテーション		
		慢性痛に対するリハビリテーション		
		がん性疼痛に対するリハビリテーション		
	内部障害 リハビリテーション トピックス	呼吸器系疾患に対するリハビリテーション	8	
		循環器系疾患に対するリハビリテーション		
		代謝系疾患に対するリハビリテーション		
		摂食・嚥下障害に対するリハビリテーション		
	精神・神経障害 リハビリテーション トピックス	脳血管疾患に対するリハビリテーション 1-総論	8	
		脳血管疾患に対するリハビリテーション 2-高次脳機能障害		
神経・筋疾患に対するリハビリテーション				
精神疾患に対するリハビリテーション				
高齢障害 リハビリテーション トピックス	ロコモティブシンドロームに対するリハビリテーション	8		
	サルコペニアに対するリハビリテーション			
	認知症に対するリハビリテーション			
	誤嚥性肺炎に対するリハビリテーション			
発達障害 リハビリテーション トピックス	胎児・新生児シミュレーション研究からみた発達とその応用	8		
	脳科学からみた発達とその応用			
	自閉スペクトラム症児者へのリハビリテーション			
	特別支援教育・保育とリハビリテーション			

## 【臨床実習指導関連及び OJT・実習モニタリング科目】

開講時期	講座名	科目名	時間	講義形式	
4-6月	臨床実習教育論Ⅰ	臨床実習指導総論	16	eラーニング	
		臨床実習における教育目標と教育評価		eラーニング	
		教育方法1-各教育目標分類における教育方法		eラーニング	
		教育方法2-行動変容について		eラーニング	
		教育方法3-EBPT/EBOT教育について		eラーニング	
		臨床実習の管理・運営1-インフォームドコンセント		eラーニング	
		臨床実習の管理・運営2-リスク管理		eラーニング	
4-6月	臨床実習教育論Ⅱ	臨床実習指導の進め方について	6	eラーニング	
		症例レポート作成/症例報告の仕方		eラーニング	
		ICFについて		eラーニング	
		実習施設の特性と指導のポイント1-急性期病院	4	※2科目 以上選択	eラーニング
		実習施設の特性と指導のポイント2-回復期病院			eラーニング
		実習施設の特性と指導のポイント3-一般病院			eラーニング
		実習施設の特性と指導のポイント4-維持期施設			eラーニング
		実習施設の特性と指導のポイント5-精神障害領域			eラーニング
実習施設の特性と指導のポイント6-発達障害領域	eラーニング				
4月	コーチング論※ <sup>1</sup>	15	講義・演習		
5月	クリニカル・クラークシップ論※ <sup>2</sup>	15	講義・演習		
7-9月	OJT・実習モニタリング※ <sup>3</sup>	セルフモニタリング	24	モニタリング	
		演習		演習	

※<sup>1</sup>※<sup>2</sup> コーチング論とクリニカル・クラークシップ論について  
集中講義として本学に来校していただきます。

※<sup>3</sup> OJT・実習モニタリングについて

OJT・実習モニタリングでは、実際に受講者の所属施設で学生指導を実施していきます。OJT (On the Job Training) では受講者の職場内での指導者(職場長など)のフィードバック、実習モニタリングでは必要に応じて学内教員のフィードバックを実施し学生指導の実践を共有します。そのことで、職場内教育における指導者養成と若手専門職に対する臨床教育のフィードバックの側面を目的としています。そのため、応募に際して、職場内 OJT のための指導者を選定し、志願票へ署名、捺印していただく必要があります。指導者は、職場長や同職種長等と考えていますが、一人職場等の場合は、他職種(医師など)でも問題ありません。OJTにおける指導者の役割は、本学が作成する臨床実習指導におけるチェックリストに沿って、受講者の臨床実習指導状況を確認していただきます。

実習モニタリングでは、本学教員と各受講者が直接もしくは遠隔システムを用いて、一定期間ごとに臨床実習指導状況について確認等を行っていきます。

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
高度リハビリテーション専門職の養成－長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム－

**臨床指導者養成教育コース**  
**平成 28 年度 受講者募集要項**

**1) 募集人員 40名**

**2) 出願資格**

次の項目のすべてに該当する者。

- (1) 理学療法士または作業療法士の免許を有し、その業務に従事している者
- (2) 平成 28 年度 4～8 月末までに 4 週間以上の臨床実習で学生指導にあたる予定である者
- (3) 受講について所属長の承諾を得ている者（出願・受講承諾書（様式 2）提出）

※ 本コースでは、eラーニング講義が中心となるため、インターネット環境が必須です。

なお、受講者には開講期間中タブレットパソコン Surface 2 (Microsoft 社) を 1 人 1 台貸し出します。

**3) 出願手続き・方法**

(1) 出願期間

平成 28 年 1 月 25 日（月）から平成 28 年 2 月 5 日（金）17 時まで（必着）

出願書類等を「臨床指導者養成教育コース 受講申請書在中」と朱書きした角型 2 号の封筒に入れ、出願期間内に必ず着くように郵送してください。

(2) 出願書類等提出先

長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター

〒852-8520 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

(3) 出願書類等

志願者は、下記の出願書類を取りそろえ、出願期間内に提出してください。

出願書類	摘 要
受講志願票 (様式 1)	本プログラム所定の用紙。写真は正面を向き、上半身脱帽で出願前 3 か月以内に撮影したもの。裏に氏名を記載すること。必ず OJT 指導者の署名・捺印を要する。
出願・受講承諾書 (様式 2)	本プログラム所定の用紙。
返信用封筒	長型 3 号の封筒に 82 円切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記載すること。

※ 本プログラム所定の用紙は、「高度リハビリテーション専門職の養成－長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム－」のホームページ (<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp/>) からダウンロードしてください。

**4) 受講者選抜方法**

提出された書類を審査して決定します。

※ 応募者多数の場合には職種や経験年数により選抜することがあります。

## 5) 受講者への受講通知

---

平成 28 年 2 月末日までに選抜結果を通知いたします。電話等による問い合わせには一切応じません。  
ただし、期日までに通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。  
受講者には受講許可書、受講手続き書類、受講オリエンテーション(3月開催)の案内等を郵送致します。

## 6) 受講手続き

---

- (1) 受講料  
無 料
- (2) 受講手続き日時  
受講許可書送付時に通知します。

## 7) 個人情報保護について

---

- (1) 出願書類で得られた個人情報は、受講者選抜業務及び受講者に関する統計調査・研究に利用しません。
- (2) 出願書類で得られた個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条に規定されている場合を除き、前項以外の目的に利用しません。また第三者へ提供しません。

## 8) 出願に関する注意事項

---

- (1) 出願書類に不備がある場合には受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、住所・電話番号等に変更があった場合は、保健学実践教育研究センターまで連絡してください。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があった場合には受講許可を取り消す場合があります。
- (4) 障害等のある受講志願者で、受講上特別の配慮を必要とする場合は、出願の前に保健学実践教育研究センターへ申し出てください。

## 9) 出願に関する問い合わせ先

---

長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター  
〒852-8520 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号  
TEL : 095-819-7937  
e-mail : kadai\_ptotgp2@ml.nagasaki-u.ac.jp

## 受講志願票

フリガナ		性別	写真貼付 たて4.0×よこ3.0 裏面に氏名を記入
氏名		男・女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 生 満 歳		
住所	〒 — —		
電話番号	— —		
メールアドレス		@	
勤務先			
勤務先住所	〒 — —		
勤務先電話番号	— —		
取得資格	<input type="checkbox"/> 理学療法士		<input type="checkbox"/> 作業療法士
	資格取得年月日 昭和・平成 年 月		
学歴	資格取得に関する事項	<input type="checkbox"/> 3年制（短期大学・専門学校） <input type="checkbox"/> 4年制（大学・専門学校）	
		年 月	卒業
	最終学歴	年 月	卒業・修了
職歴 (理学療法士・ 作業療法士)	施設名	期間	就労年数
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年



## 出願・受講承諾書

平成 年 月 日

長崎大学医学部保健学科長 殿

所属機関所在地 \_\_\_\_\_

所属機関名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

このたび下記の者が長崎大学医学部保健学科「高度リハビリテーション専門職の養成—長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム—」における「臨床指導者養成教育コース」に出願することを承諾します。

また、本人が受講を許可された場合は、受講することを承諾します。

記

氏 名 \_\_\_\_\_

職 名 \_\_\_\_\_

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
高度リハビリテーション専門職の養成  
ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー

地域包括ケア人材養成コース

平成 28 年度  
**受講者募集要項**

長崎大学医学部保健学科

# 目 次

1. 高度リハビリテーション専門職の養成	
ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラマーー 概要	
1) 目的	2
2) 「地域包括ケア人材養成コース」の概要	3
2. 受講者募集要項	
1) 募集人員	5
2) 出願資格	5
3) 出願手続き・方法	5
4) 受講者選抜方法	6
5) 受講者への受講通知	6
6) 受講手続き	6
7) 個人情報保護について	6
8) 出願に関する注意事項	6
9) 出願に関する問い合わせ先	6

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

## 高度リハビリテーション専門職の養成

ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー

### 概 要

#### 1) 目 的

文部科学省は、医療人材の養成の充実を目的として平成 26 年度に「課題解決型高度医療人材養成プログラム」を開始しました。その内容は、高度な教育力・技術力を有する大学が核となり、わが国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療が提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医師・歯科医師・看護師・薬剤師等を養成するための教育プログラムを実践・展開する取り組みです。

長崎大学医学部保健学科では、本プログラムに応募し平成 26 年 7 月に「高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー」として採択されました。

本プログラムは、「臨床指導者養成教育コース」と「地域包括ケア人材養成コース」のリカレント教育から構成され、①質の高い臨床実習指導者の輩出、②地域包括ケアシステムをマネジメントできる高度な理学・作業療法士の輩出を目的としています。

「地域包括ケア人材養成コース」では、長崎県における地域リハビリテーション活動から培ってきた教育プログラムを提供し、地域包括ケアシステムに寄与できる指導力を有する理学・作業療法士を養成することを目的としています。また、本コースでは、eラーニングを導入し、島嶼部で従事している多くの理学・作業療法士も受講できるプログラムとなっており、全国でも応用できるよう発信していきたいと考えています。

## 2) 「地域包括ケア人材養成コース」の概要

### (1) 目的

本コースは、長崎県における地域リハビリテーション活動から培ってきた教育プログラムを提供し、地域包括ケアシステムをマネジメントできる人材を養成することを目的としています。具体的には、各職種間の共通認識を構築するための国際生活機能分類（ICF）を用いた生活障害の分析と理解、地域で展開されている介護予防の理解と実践、地域ケア会議やサービス担当者会議等への参加によりケアマネジメントを実践します。このことより、地域包括ケアシステムに寄与できる指導力を有する理学・作業療法士を養成します。

### (2) 開講期間 平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

### (3) カリキュラム

地域包括ケアシステム、地域の理解、介護予防の理論と実際、ICF の理論、地域ケア会議ならびにケアマネジメントに関する講義と、介護予防事業や地域ケア会議ならびにサービス担当者会議への参加によりケアマネジメントを実践する実習演習から構成しています。

本コースは、「地域包括ケアシステムと関連機関を知る」、「地域包括ケアシステム推進に向けた実践とマネジメント」、「総括」の 3 ステージからなる総時間 120 時間のコースです。

#### ステージ 1：【地域包括ケアシステムと関連機関を知る】

開講時期	講座名	科目名	時間	講義形式	
10-2 月	地域包括ケアシステム に関連する施設見学	①地域包括支援センター	6	12 ※2 施設 選択	※実習演習
		②居宅介護支援事業所	6		
		③回復期病院	6		
		④介護老人保健施設	6		
		⑤訪問リハビリ（訪問介護）事業所	6		
10-11 月	地域包括ケアシステム について	個人情報とセキュリティ	2	e ラーニング	
		障害者政策について	2	e ラーニング	
		介護保険制度について	2	e ラーニング	
		地域包括ケアシステムとその背景	2	e ラーニング	
		地域包括ケアシステムに関わる機関とリハビリ 専門職の役割	2	e ラーニング	
		地域包括支援センターの役割と機能	2	e ラーニング	
		国・県・市町村における保健福祉政策について	2	e ラーニング	
		地域リハビリテーションについて	2	集中講義	
長崎県における地域包括ケアシステム構築に向けた 取り組み	2	集中講義			

#### ステージ 2：【地域包括ケアシステム推進に向けた実践とマネジメント】

開講時期	講座名	科目名	時間	講義形式	
11-2 月	地域包括ケアシステム 推進に向けたマネジメ ントの実践	健康づくり・介護予防（自主活動）事業への参加：3 回	24	必修	※実習演習
		①介護予防二次予防事業への参加：2 回	12	12 ※1 コー ス選択	
		②地域ケア会議への参加：2 回	12		
		③サービス担当者会議または退院前カンファレンスへの参加：2 回	12		
11-2 月	地域の理解	地域診断（地域アセスメント）について①	2	e ラーニング	
		地域診断（地域アセスメント）について②（演習）	4	集中講義	

11-2月	介護予防の理論と実際	介護予防事業における行政の役割	2	eラーニング
		健康増進における介護予防	2	eラーニング
		介護予防の必要性とそのエビデンス①（運動器・認知）	2	eラーニング
		介護予防のエビデンス②（口腔・栄養）	2	eラーニング
		介護予防事業における評価について（演習）	6	集中講義
		介護予防事業の地域における実践例①	2	集中講義
		介護予防事業の地域における実践例②	2	集中講義
		介護予防・日常生活支援総合事業	2	集中講義
	ICFの理論	ICFの理論	2	eラーニング
		急性期・回復期における医療と介護の連携	2	集中講義
		生活期（施設・在宅）リハビリテーションの実際と課題	2	集中講義
	地域ケア会議ならびにケアマネジメント	地域ケア会議の目的と機能ならびにリハビリ専門職の関わり	2	eラーニング
		ケアマネジャーの役割	2	eラーニング
		生活行為向上マネジメントについて	2	eラーニング
		施設におけるマネジメント	2	集中講義
サービス担当者会議におけるマネジメント		2	集中講義	
住宅改修と福祉用具（生活環境の整備）		2	eラーニング	

### ステージ3：【総括】

開講時期	講座名	科目名	時間	講義形式
3月	総括	地域包括ケアシステム推進に向けて	2	集中講義
			8	演習

### ※ 実習演習について

1. 実習演習は、ステージ1「地域包括ケアシステムに関連する施設見学」・ステージ2「地域包括ケアシステム推進に向けたマネジメントの実践」です。
2. ステージ1「地域包括ケアシステムに関連する施設見学」では、受講者の勤務する領域とは異なる領域への見学を2施設行っていただきます（例えば、回復期病院に勤務している場合は、地域包括支援センターと介護老人保健施設への見学等）。
3. ステージ2「地域包括ケアシステム推進に向けたマネジメントの実践」では、勤務時間外（勤務終了後や土日等）での実習演習の可能性もあります。
4. 実習演習については、事前にこちらで希望施設に対し承諾の有無を問い合わせる必要（受講者の勤務先近隣の地域での実習演習を予定）がありますので、出願時にステージ1「地域包括ケアシステムに関連する施設見学」の希望する施設（5施設中2施設）、ステージ2「地域包括ケアシステム推進に向けたマネジメントの実践」の希望するコース（3コース中1コース）を選択してください。なお、受講人数の都合上、希望にそえない場合もあります。

### ※ 集中講義について

本コースでは、eラーニングによる講義だけでなく、講師と受講者同士の顔を合わせた討論を目的に、集中講義も多く行う予定です。したがって、実習演習だけでなく、月に1回程度（土日を予定）来学していただく必要があります。

文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業  
高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー

## 地域包括ケア人材養成コース 平成 28 年度 受講者募集要項

### 1) 募集人員 40名

本コースは、日本理学療法士協会及び日本作業療法士協会が定める認定・専門（理学・作業）療法士の履修ポイント・生涯教育ポイントとして認められるよう申請中です。

### 2) 出願資格

次の項目のすべてに該当する者。

- (1) 理学療法士または作業療法士の免許を有し、長崎県内でその業務に従事している者
- (2) 受講について所属長の承諾を得ている者（出願・受講承諾書（様式 2）提出）

※ 本コースでは、eラーニング講義が中心となるため、インターネット環境が必須です。

なお、受講者には開講期間中タブレットパソコン Surface 2 (Microsoft 社) を 1 人 1 台貸し出します。

### 3) 出願手続き・方法

- (1) 出願期間

平成 28 年 4 月 11 日（月）から平成 28 年 4 月 22 日（金）まで（必着）

出願書類等を「地域包括ケア人材養成コース 受講申請書在中」と朱書きした角型 2 号の封筒に入れ、出願期間内に必ず着くように郵送してください。

- (2) 出願書類等提出先

長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター

〒852-8520 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

- (3) 出願書類等

志願者は、下記の出願書類を取りそろえ、出願期間内に提出してください。

出願書類	摘 要
受講志願票 (様式 1)	本プログラム所定の用紙。写真は正面を向き、上半身脱帽で出願前 3 か月以内に撮影したもの。裏に氏名を記載すること。
出願・受講承諾書 (様式 2)	本プログラム所定の用紙。
返信用封筒	長型 3 号の封筒に 82 円切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を記載すること。

※ 本プログラム所定の用紙は、「高度リハビリテーション専門職の養成ー長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラムー」のホームページ (<http://www.am.nagasaki-u.ac.jp/ptotgp/>) からダウンロードしてください。

#### 4) 受講者選抜方法

---

提出された書類を審査して決定します。

※ 応募者多数の場合には職種や経験年数により選抜することがあります。

#### 5) 受講者への受講通知

---

平成 28 年 5 月 20 日（金）までに選抜結果を通知いたします。電話等による問い合わせには一切応じません。ただし、期日までに通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。受講者には受講許可書、受講オリエンテーション（10 月 1 日開催予定、出席必須）の案内等を郵送いたします。

#### 6) 受講手続き

---

(1) 受講料

無 料

※ e ラーニング受講にかかる通信費、実習演習や集中講義にかかる交通宿泊費は自費となります。

#### 7) 個人情報保護について

---

(1) 出願書類で得られた個人情報は、受講者選抜業務及び受講者に関する統計調査・研究に利用します。

(2) 出願書類で得られた個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条に規定されている場合を除き、前項以外の目的に利用しません。また第三者へ提供しません。

#### 8) 出願に関する注意事項

---

(1) 出願書類に不備がある場合には受理しないことがあります。

(2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、住所・電話番号等に変更があった場合は、下記まで連絡してください。

(3) 出願書類に虚偽の記載があった場合には受講許可を取り消す場合があります。

#### 9) 出願に関する問い合わせ先

---

長崎大学医学部保健学科 保健学実践教育研究センター

〒852-8520 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号

TEL : 095-819-7937

e-mail : kadai\_ptotgp2@ml.nagasaki-u.ac.jp

## 受講志願票

フリガナ		性別	写真貼付 たて 4.0cm×よこ 3.0cm 裏面に氏名を記入
氏名		男・女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日 生 満 歳		
住所	〒 —		
電話番号	— —		
メールアドレス		@	
勤務先			
勤務先住所	〒 —		
勤務先電話番号	— —		
取得資格	<input type="checkbox"/> 理学療法士 <input type="checkbox"/> 作業療法士		
	資格取得年月日 昭和・平成 年 月		
学歴	資格取得に関する事項	<input type="checkbox"/> 3年制（短期大学・専門学校） <input type="checkbox"/> 4年制（大学・専門学校）	
		年 月	卒業
	最終学歴	年 月	卒業・修了
職歴 (理学療法士・ 作業療法士)	施設名	期間	就労年数
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年
		年 月 ～ 年 月	年



## 出願・受講承諾書

平成 年 月 日

長崎大学医学部保健学科長 殿

所属機関所在地 \_\_\_\_\_

所属機関名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_ 印

このたび下記の者が長崎大学医学部保健学科「高度リハビリテーション専門職の養成－長崎地域包括ケアシステムを活用したプログラム－」における「地域包括ケア人材養成コース」に出願することを承諾します。

また、本人が受講を許可された場合は、受講することを承諾します。

記

氏 名 \_\_\_\_\_

職 名 \_\_\_\_\_

